明治四十四年九月一日創刊
大正七年十一月一日第三種郵便物認可
（大正十年七月十日印刷）
（大正十年七月十日發行）

男女貞潔之理想　會長　島田三郎

公娼廢止之主張　副會長　安部磯雄

6 — 221

廓清

第十一卷第七號

□眞さに愁ふべし……足羽淸美
□日米の外交關係……廓清會長　島田三郎
□社會改造の手段を論ず　一條忠衞
□醜き男女關係救治策　廓清會理事　高島米峰
□現代の風紀問題……文學博士　井上哲次郎
□廓淸に對する鄙見　文學博士　村上專精
□廓清に對する思想の推移……加藤咄堂
□賣笑婦と都市の影響……橫濱市社會課　木藤冷劍
□社會運動者の取締り……辯護士　布施辰治
□婦人の解放に就いて……高島平三郎
□貞操と形式……水津謙介
□謎の世界吉原日記　前吉原病院看護婦　田口和子
□新設の二支部……本部報告
□編輯の後……圭英生

東京　廓清會本部　發行

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

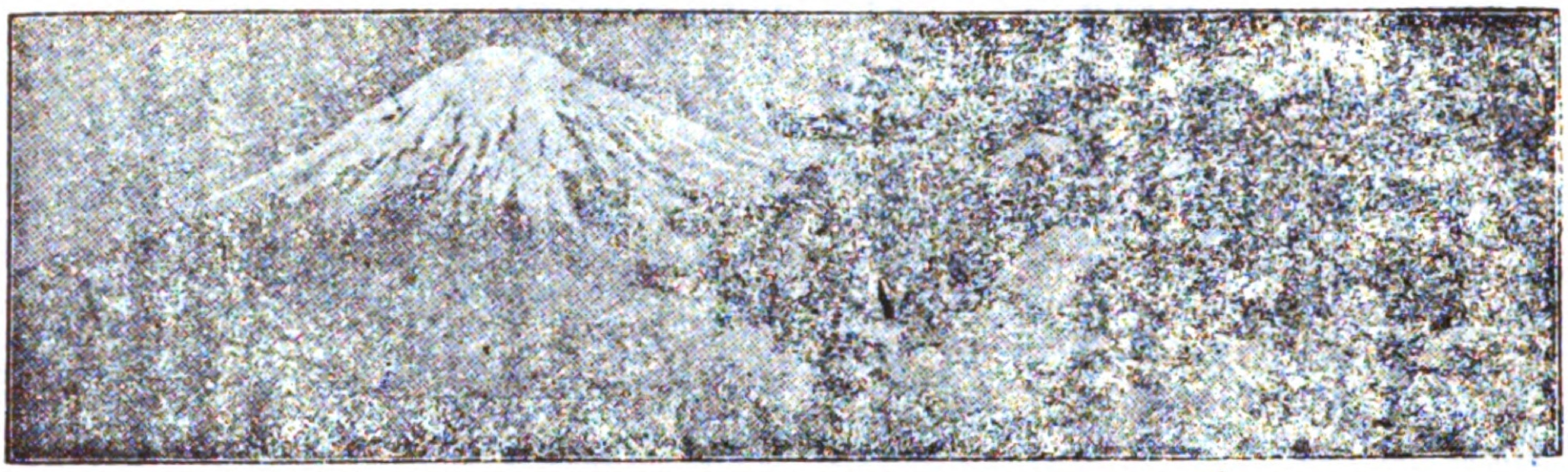
食後のうがひ
外出前後のうがひ
寝る前のうがひ

數滴よく偉效を奏する

ライオン水歯磨

◎用法 この水歯磨の二三滴をコップに落し、これに清水(或は微温湯)を一ぱいついで、よくまぜあはせ、がらがらと含嗽をすれば口中のすみずみまで清潔になります。それのみならず、含嗽の後、さわやかな芳香がいつまでも口中にただよつて、非常に爽快な氣分になります。常々之をお用ゐになれば、齲歯は申すまでもなく、凡ての口腔疾患を防ぐことが出來ます。

東京市本所區外手町
ライオン歯磨本舗 株式會社 小林商店
支店 大阪市東區博勞町二丁目
名古屋市西區呉服町四丁目
上海[illegible]



眞に愁ふべし

近來世界の視聽は、軍備制限の協定と、太平洋問題を決定する爲めに將さに開かれんとする華府會議に集中されて居る。而して該會議の焦點は實に我が國にして、我が極東政策の上に殊に重大なる影響を齎らさるべく、隨つて政府の愼重なる考慮も此處にあるもの丶如く、我が國は宛然興亡盛衰分岐の暗礁に座洲せるものにして、眞に古今未曾有の國難に遭遇せるものであるとも觀測されて居る。然るに、我が國には此の重大時機に際して何等輿論として認むべきものも起らず、眞の國論として聽くべきもの丶傳えられないのは抑も何が故であらうか。

從來我が國に國難襲來の傳へらる丶もの一再ならず、その都度國論の沸騰せることは史籍の傳ふる處にして、遠く元寇の亂を繙くまでもなく、近世に於ても明治七年の征韓論は南洲翁の陰遁より延いて西南の役を惹起したのであるが、その事の是非は別として國民の意氣の眞に旺盛なるものがあつた。而して爾來日清、日露の兩國難前後には未だ依然として活氣横溢し、輿論の熾んなるものがあつたが、日露戰役講和談判以後漸次退嬰し、近來頓みに沮喪したかの觀がある。卽ち今日此の存亡の危機に國民の極めて冷靜に拱手傍觀し、全然無關心なるが如き狀態なるは何に由來するであらうか。

從來の政治家が餘りに國民を無視し、餘りに愚弄せる爲め國民は齊しく政治家を信賴せず、過去の政治に飽きて國民自ら處理せんとする前提であるか、將た又、社會組織に餘りに缺陷多く、個人の生活は悉く脅威を受け逼迫を告げ、その安定を得ざるが故にその解決に寧日なく、延いては國難を顧慮し國家の爲めに奔命の遑なきまでに唯物史觀に虜はれて居るに依るのであらうか。或は今や國家の總ての機關は殆ど擧て犯罪の巣屈ならざるはなく、國政の樞機に參する者にして株の賣買を爲して財を蓄え、亦は馬を收め阿片を吸引して國禁を犯し、政府の御用黨は横暴專恣を極め在野黨は腐敗し、上司の不始末は洽く國民の目前に羅列され、政黨の紊亂は廣く巷間に傳えられ、上の爲す所下之れより甚だしく、上下交々利を征つて國愈々危きに到つたのではあるまいか。而して秕政の反映は益々國民生活を脅威し、更らに壓迫を加へ、猶も餓死道へ追窮しつ丶あるがために、國民は等しく今日の脅威より脫出するに急にして、他を顧みるの餘裕なく、唯だ齷齪として露命の支持に忙殺され、終ひには議會否認の思潮をも產むに臻り、眼前の國難にも全然聾耳盲目し、心頭は悉く朽木と成り糞土の牆と化り、既に魔痺し化石して仕舞つたのではあるまいか。想ふて玆に到らば、國民思潮の推移變轉の急激にして洵に深憂に堪えないものがある。人心の倦む處に進步發展は望まれない开處には怎うしても心氣轉換機を必要とする。乃ち僕は普選を斷行し局面の轉換を謀るの急なるを思はざるを得ぬ。(淸)

Digitized by Google

Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

日米の外交關係（承前）

廓清會長　島田三郞

【一】

顧みて内政の狀を見るに、諸般の政務には悉く行詰まつてゐる。先以て財政の大體を云へば、十年度の經常歲入が十五億六千二百餘萬圓、昨年度に比し、增加二億二千七百餘萬圓内租税七億五千一百餘萬圓、印紙勸業官有財產收入雜收入其他を合せて總計十二億三千七百餘萬圓、是が經常歲入である此他臨時歲入三億二千餘萬圓、内前年度剩餘金繰入一億九千三百餘萬圓、公債五千四百餘萬圓、自然增收一億圓、減債基金繰入金三千餘萬圓、其他官有物拂下及雜收入等である。

概略之を分析すれば概數に於て此豫算より實收入は減ずべき傾向を有つてゐる。印紙税の如き勸業收入の如きは、尙工業繁榮の時代より現在の反動期經濟擾亂の時に於ては何れも減ずべき主なるものである。前年度繰入金は商工業繁榮の時代に營業税や所得税の增收があつて、剩餘金となつたのであるから、今後は減するのみで增すことなきは必然である。此他大正九年十年の兩年度の追加豫算の財源は剩餘金一億五千八百餘萬圓を、殘る處は僅に九千八百餘萬圓、十年度以降十一年度に充てある。今後經濟狀態の混亂によつて剩餘金を期待することは出來ぬ。此他の收入は公債五千四百萬圓、減債金繰入三千萬圓、其他自然增收一億圓とあるは、之は前述の理由によつて期待することは出來ぬ。斯く計算して見れば、今後の財政は實行上非常の困難を覺ゆるであらう。且つ自然增收を見込なきに掲出し、營業税、所得税を商工業繁榮の時代の三年平均と見積りて出してあるから、是も見込通りの收入はあるまい。是だけを見ても、財政は行詰まつてゐることは分明である。

次に十年度の募債額は一般會計に於て五千四百萬圓なれど特別會計に於ては一億五千五百萬圓、此外陸軍軍事費の公債一億圓、尙八年度軍事費公債募集の殘額二千六百萬圓、同九年度分一億五千五百萬圓、全部加算すれば合計四億六千三百萬圓となる。更に十年度中償還期限の到來により借換へを要するものを合せて三億七千二百萬圓是を加算する時は八億三千六百萬圓の巨額となる。此内借換に屬する二億七千二百萬圓を暫く措くとするも四億六千二百萬圓の公債は補充せねばならぬ。此數字を一見すれば後來の財政は極めて困難なるは明白である。

今後五ヶ年間大正十四年迄に償還期の到來する内外の公債は通計五億八千六百萬圓、此外臨時國庫證劵の整理を要する

もの五億二千三百萬圓、十年度に募集すべきもの四億六千餘萬圓、を合せて合計八千三百萬圓は大正十四年迄に整理せねばならぬ。更に十一年以降四年間年年新に募債を要する金を毎年二億萬圓と假定すれば、十四年度に十億圓とならん。上述の金額約二十億、新に募集すべきもの十億、計三十億圓の巨額となる。

〔二〕

歳出の上に就て着目すべき項目を擧ぐれば、經常歳出中、陸軍省經常費一億八千三百餘萬圓、同じく臨時費七千九百餘萬圓、海軍省經常費一億四千四百餘萬圓、同じく臨時費三億五千三百餘萬圓、各部省經常費三千三百餘萬圓、內臨時費一千六十餘萬圓、陸海軍の費用の如何に過多にして、文部省費用の如何に少額なるかを見よ。此他一々數字を擧げざるも一言すれば、文治の費用は項目極めて過多にて總額之に添はず、之が爲めに社會事業と云ひ衞生と云ひ敎育と云ひ何れも適當の經營をなすこと困難である。

地方に於ける港灣修築費の如き、政府の分與金を提出して是が全部々地方費に負はしてある、一昨年の議會に於て營業稅酒造稅を增加すること一億圓、然るに此增加の金を以て文化進步の費用に充つることは能はず、却つて物價騰貴の增費の爲めに一億五千萬圓を支出するの狀態であるから行政の進步は毫も望まれない。直接民政に關する尤も緊要なる衞生の不行屆の爲めに、死亡率增加し、衞生狀態も退步する、更に尤も目前の悲哀の問題として擧ぐべきは、敎育費の缺乏である。前に掲げたる數字によるに、文部本省の費用より地方に對する國庫補助金迄凡ての敎育費が五千餘萬圓に過ぎぬから、普通敎育の補助金も名儀のみであつて、殆んど實質の補足にはならぬ。且つ世界の進步と共に人民智識慾の增加するに伴つて、普通敎育の入學者が增加し義務敎育として課すべき小學の入學者さへ容るべきの校舍に乏しく、都鄙を通じて二部敎育を施し尙不足して小學生徒に入學試驗を施し、落第者を出すとは何事であるか。普通敎育は國家が獎勵して就學を增加せねばならぬ性質のものである。それすら、此有樣故中學に至つては更に甚しい、其精細の調査はまだ分明でないけれども、大抵千人の申込に對して二百人か二百五十人より入學が出來ぬ程であつて、此年齡の兒童を有する父母は入學の困難に惱み、相當の資格を有ち乍ら、落第の憂目に逢ふて落膽するものがある。學生本人は失望して神經衰弱となり一生を誤るものも續々として起る有樣である。歐羅巴諸國では國運を賭して戰爭に勞する際でも、戰後國力を恢復するは健全にして能率高き德性を持し活動に堪ゆる良民を得るにありとして、軍備に汲々たる間に學制調査に努力した。平和恢復以後は國際國威を增して財政に困難なる間にも敎育年限を增加して國力を恢復の第一要件としてゐるに拘らず、我國は是と反對に戰爭中に生きたる利益に歡喜して生活を上げ國費を增加し、放慢の狀態であつて國民の性質と能力とを助長する準備もない、戰爭以後に當りて、前述の如き困難に遭遇して狼狽を極めてゐるのは歎ずべきの極ではない乎。

〔三〕

世界の大戰を終へ列國狀態は大に變化した。日本も國策を徹底して其根底に改

革の手を下さればならぬが、細かく云へば種々の項目に分れるが、我國は平和主義の國是を取つて時運に應ずるの大改革を加へ、外は列國の故なき猜疑を散らし内は教育を勵まし、文化を進めて一新の方途を立てればならぬ。

前に述べたる事情よりして、我國の將來の軍備は過大であることを自覺することが必要である。軍備に手を下して之を適當の程度に進めたら、外國より受くる故なき猜疑を消滅し、之より減し得たる費用を、文化進歩の第一要點たる教育費に轉用することが出來る。試みに大艦一隻を減ずることが出來たとせば、六千萬圓乃至八九千萬圓の金を得ることゝなる。現在の地租七千五百萬圓、一年の地租を中學校の設立に入れたら幾百校を建設することが出來る。今日尚且つ帝國露西亞に對する時代の陸軍を其儘に擁してゐる必要がないから大に師團の數を減じて更に其内部を改革し、舊制度を捨てゝ新發展を促すとすれば、師團を減じたる爲めに非常の巨額を得るのみならず、時代遲れの騎兵隊を最少限度に減ずれば之を轉用して飛行機隊の擴張進歩を圖ることが出來る。幸に英米共に海軍を制限せんとするの意志を懐いて協商を開かんとする今日に於て、我日本は誠實に兩國と協同し、海軍を制限したら、此點に於て財政の根柢を整理して、文化の進歩を圖る充分の餘力が生じて來る。米國に於て一方には增艦費を可決し。同時に海軍減少の協商費を可決した事は、協商迄增艦を繼續するの意味であらう。此意志は遂に米國々論が海軍制限論者の後援となつて、漸く決せしめたものである。英國の新新聞も同一の聲をあげて、海軍制限を督促してゐる。是を要するに政事情から英米の間に一時海軍の競爭起らんとしたが、日を經るに從つて其氣焔は冷却し、今は兩國共に日本を促して此目的を達せんとする形勢が見える。日本に取つては、逸すべからざるの好機會である。萬一英米共に國力を盡して海軍を擴張し、我國も亦此勢に誘はれ此渦中に投ずることゝなつたら、一番樂なのは米國で、次は英國で、最も其弊を受くるものは我日本である。英國は日本に對して別に猜疑の念はないが、日英力を合せて、米國に對抗する恐れを抱いてゐるは米國である。それ故に日英の協商も米國をして疑念を抱かしめざる充分の用意が必要だと、英國の國論は此點を氣遣ふて居り、更に英國の殖民屬領の政府並に國人は、米國をして此猜疑を抱かしめざる條約ならば、日英條約を賛成するといふてゐる。

〔四〕

要するに今日國際間の懸念は日米の交情如何と見てゐる。冷靜に考ふれば日米間に戰ふべき事實の原因はないが、米國は日本を疑ひ、日本は米國を疑ふ、此心理狀態が兩國の交際を阻害し、英國をして此嫌疑を抱かしむるのである。抑も日米をして斯く故なき疎隔の念を懷かしむるのは、日本が帝國露西亞に對する當時の陸軍を其儘に維持し、英米と親善であり乍ら、他の政務の費用の不足をも顧みずして多大の海軍力を造らんとする態度は米人の懸念する處であり、支那に對する日本の態度が支那國民をして日本は侵略國なりと叫ばしむることが米人に戰理を抱かしめてゐる。日米の國利は何處迄も平和であらねばならぬ。日本は海外に原料を取つて耕作品を他國の市場に賣出すのが必要の國である。從來此方針を事實の上に確定表明せずして、動もすれば支那に西比利亞に領土擴得の意志あるかの如く形跡のあるのが根底の病である。今日の國際狀態は一國をして妄りに他國の領土を侵略することを許さぬ。平和の能力ある國民として、海外に發展するには努力次第で、人種區別の觀念を減じて、平和膨脹の道を開くことは出來るが、前面に軍艦を進め背後に軍隊を負ふて、領土の獲得に努めんとするも到底其の希望を達せずして却つて其禍を受けることは、墺國がセルビアを合せんとし、獨逸がバルカンを手に入れ、更に肱を土耳古に伸ばさんとし、露國其反對に立つてバルカンを手に入れんとした双方の土地獲得の欲求が破裂したのが最近大戰の發端で、三帝國は共に其本國を或は潰崩し或は分裂し、或は縮少し、領土獲得の希望は一夢となつて消えた、我日本の何れの場所にも今日に於

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

て領土獲得の夢を見るものもあるまいが、萬一之を夢見て、當時の政策を逐はんとするものあらば、國家の大害である。

〔五〕

最早我國の智識階級も一般の國民も、此點に就ては惑を抱く者もなからう、唯從來の形式を逐ふて、斷然根本の改革を唱ふるもののなき爲め、依然として船を流るゝが儘に下降せしめてゐるのは、極めて遺憾である。今日の計は米國の心より平和を望む人々と平和を熱愛する日本の人々と、過去を忘れて現在及將來の大計を明らさまに協議したら、妄りに日本を疑ふて布哇を武裝し、グアム比律賓の防禦を固うし、渺たるヤップ島を爭ふて兩國の間に面白からぬ感情を高むる如きことの無用を悟るであらう。米國の上院議員某氏は、米人の日本を疑ふを笑つて、「米人の神經質にも當惑する」と評した米人の或者の事を解せざるも餘りに法外であるが、我日本の之を疑ふて是に備へんとするも亦餘りに無理解である、事の茲に至るは支那に對する日本の政策が、支那人をして侵略政策なるかを思はしめて、其叫びの聲が米國に反響する爲めてある。亞細亞の大陸は宏大である、門戶開放を心から實行して米人の資本も勞力も日本の資本勞力も、之を支那に受入しめて、支那の利源を開拓することに力を合せて支那を益し、併せて各自ら益する事としたら、其余は實力の平和的競爭に任せて然るべきである。西比利亞に對するも同樣である。之に就ては從來の日本の人が、支那人を侮る如き嫌疑を受けぬ樣にせねばならぬ。支那を侵略する如き嫌疑を受けぬ樣せねばならぬ。何れにしても其國に入つて其國の心を失ふては平和の競爭をすることは出來ぬ。假りに戰爭が起るとせよ、今日の如く支那の人心が日本を去つてゐる時なら、遠き米國に走るも、我日本に敵對する如き行動を取るであらう。否我領土となれる朝鮮すら我日本に服せぬ樣では有事の時如何にかする。堅艦巨砲も強烈の彈丸も其他の銳利なる武器も、孤立の日本を如何にかする。我等は戰爭を豫定して居らぬから、斯の如き心配をせぬが、平時に於て我に信賴し、我も又信賴する商工業に於て協商する國なら戰時に於ても友人だが、平時に於て相疑ふ間柄なら、商工業に於ても戰時に於ても孤立を免れぬ。是を見たら、隣邦に疑を抱かしむる如きことは斷然之を制限して、信賴すべきの日本であるとの觀念を與へることは最大の必要である。

〔六〕

我日本の人口が增加して困るといふ說もあるが、海外に發展して其國を愛し、其國民となり、其風俗に逆らはぬ良慣習の民となれば、亞細亞に發展して有利の事業を營むことも出來、南米にも中米にも發展の餘地がある。狹義の愛國心に捕へられて、一時武力に於て他を壓するとも、永久の發展は望まれぬ。此點に於て戰後の日本は國民の性情より一新するの必要を感ずる。

今日に於て我日本人の爲めに必要なるは先に述ぶるが如く遠慮なく日本人の缺點を公言し其欠點を除くことに努めねばならぬ。獨逸があれ程迄の能力を有し、あれ程迄の一致を以て武國として天下に恐るべきなしといつたが、其點は自國の力を過大に見たにある。否力を信じて德を養はなかつたのが

あの大敗を取つた原因である。戰爭當時英國に駐在せるリヒノフスキー侯爵は獨逸の軍閥者流と見解を異にし、又其宰相とも性質を異にし、獨逸民族の欠點と獨逸政府の過信を遠慮なく警告した。又心からの親英論者であつたから、英國の外相グレー伯爵と親友であつた。獨逸が兵を擧げんとする時に若し伯耳義の中立を犯さば、平和を熱望する英人も必ず援軍を出す、英國が此決心をしたら、獨逸に勝目がないといふた。愛蘭の混雜も斯くすれば一時消滅する。愼しんで輕擧する勿れと本國に報じたが、獨逸の宰相ホルウェリ氏は之を聽かず、皇帝も亦リヒノフスキーの怯惰を笑つた。戰開けて後の形勢は、リヒノフスキーの豫言の如くであつた。貴彼は歸國して戰爭の酣の時に友人に告げたる手書が圖らずも暴露して譴責を受け、一時は反賊であるとか、發狂したとも識られたが、事實は此人の豫言の如くなつた。此人終り迄グレー卿と共に平和を維持せんと努め墺露佛獨英の大會を開いて調停を圖ることにグレー卿と相談をしたが、凡ての事は獨逸の國自慢の氣風に沒却せられて遂に開戰となつたのである。凡て其國の短所を明言して警告を與ふるに自由なる國に於ては大なる過失を咀めて、危險を防ぐことが出來るが、個人その非をいふことの自由を有せずして、他國人が其國情を却つてよく知り、或は其國情を過大に見誤つて憎惡の念を生ずることがあつても、國人がその過を指摘することの出來ぬ國に於ては獨逸の如き强國も亦、其禍を受くることゝなる、恐るべきことである。

〔七〕

日米の間は事實に於て爭ふべき問題はない、支那に對する態度の如きは大體に明白に外交的交際によりて、我の利のある處は充分に是を述べ、我の短き處は顧みて之を補ひ、我の疑はしき處は無遠慮に是を問ひ、彼の誤れる處は明らさまに其非を責め、心から平和を愛し、米人の理解を得る事に努力すれば、理のある處之を述ぶることを得る、たゞ外交辭令を巧みにして、心に眞實なく、形式に囚はれて徒らに親善の二字を高調するも、何の益もない。如何なる場合にも誠意と眞實が土臺とならねばならぬ。

米國の政治家中此の德義を欠くものであらう。乍併同時に誠實の人あるを疑はぬ。特に前日シカゴに開かれたる大會に於て、新に參政權を得たる婦人が、功を擧げ。資本家の爲めに帝國主義を唱ふるを非難する。勞働者の領袖の功も揚がり、其國を愛すると共に、普く人類を愛する牧師の活動もあり、それ等の合力によつて三十八州の議員が活動を始め、各敎會が六月一日を以て一齊に平和の說敎をなさんことを勸告したるが如き、目覺ましき熱誠の紳士の活動がある、ホーラ案が議會を通過し、增艦の費用を可決すると同時に又日米英の海軍の制限協商會を開くの費用十萬弗を可決したるは、此種類の健全なる國民の活動の反響である。我等は米人が悉く公平なる判斷を持ち猜疑の念を抱かぬとは云へぬ。又造船業者の利害に動かされて戰爭論をなす者もある殊に煽動的新聞が過大に戰爭熱を物好きに沸騰せしめんとする者なしと言はぬ。此等の說に迷はされて大平洋艦隊を東洋に派遣せよと眞面目にいふ者なしとは云へぬ。併し最大多數の米人は斷じて日米戰爭を期待することなく、眞心より平和を維持して人類の大災害を消滅せしめんとする者が多數であるとを信ずる我國人は此消息を理解して日米の平和を永久に保持し其準備として兵備を節役し文治を勵ますの精神を高調すべきである。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

社會改造の手段を論ず（下）

一條忠衛

四　手段としての暴力革命の惡的價値

叙上の如く、科學的倫理學上の善的行爲は、吾人の人格活動の上に於て善的目的に相關する善的手段の結果でなければならなかつた。然らば社會主義や無政府主義の學説に於て、人格活動の發現として善的目的を實現するに當り、暴力革命の手段に訴へて實行した行爲は正當であるか何うか。これは暴力革命に對する概念の定義によつて決せられるものであるが、マルクスの唯物史觀説の結論に於ける革命の概念や、クロポトキンの無政府主義に於ける暴力の概念や、自らマルクスの弟子と稱するレーニンの過激政策の概念や、近時社會の各方面に勃發する怠業罷業としての直接行動の概念を綜合して考へて見るに、十人十色の觀があるけれども、勞資の階級爭鬪に於て無產階級が結束して有產階級に對し、强制を手段として居る點に於ては共通である。別言すれば無產階級が社會制度に對して萬人に共通なる道德上の目的を要求するために、有產階級に對して强制を手段とすることを以て善的行爲と信ずるのである。そしてこの强制は有產者の地位、名譽、財產に對する制度の解放を意味するものであるけれども、此等のものは個人の生命に從屬するものであるが爲めに、その生命をも脅威し迫害するの事實を伴ふものである。是に於てマルクスの唯物史觀説の結論に於ける革命は、勞働者の團結により資本家に對し、資本制度の解放に對する强制を手段とするものであるけれども、必然の勢としてその生命をも脅威し人格をも蹂躪するの結果を伴ふものであつて、クロポトキンの是認する暴力やレーニンの好むところの過激政策は自然の結果として附隨し、武力に訴へて勝敗を決せんとする阿鼻慘状を呈出するのである。これは資本主義の崩壞を目的とする革命のみならず、凡らゆる種類に於ける歷史上の革命には必ず附隨した手段的形式である。

今これを倫理上より觀るにその手段は不正であり、行爲は惡である。無產階級が道德上の目的を實現する爲めに、有產階級の地位、名譽、財產、及び生命を脅威する手段に訴へることは不道德行爲である。假令有產階級が人生の目的に違戾する行動を爲して居るのを阻止しようとする動機は正善としても、これを實現する爲めに不正の手段を用ゐることは惡である。怠業、罷業、暴行、革命は手段の强制として、何れも道德上の正善では無い。目的は手段を神聖とすると解する論理は、科學的倫理學の規範としては何處からも歸納されぬし、

Digitized by Google

Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

又た演繹されないのである。不完全なる社會制度を改造することが如何に高價なる倫理上の目的に合致するとしても、これを實現する爲めに不正なる手段に訴へれば、その行爲の惡たることは科學的倫理學上斷言して疑ふ餘地の無いものである。有產階級の壓迫と慘虐に對して、無產階級の自由と平等とを擁護せんとする社會改造の博愛的精神は、その目的に於て正義であり公正であるとしても、それを實現する爲めに不正の手段に訴へて有產階級の地位、名譽、財產を掠奪して生命までも危害する行爲を是認することは、科學的倫理學から見れば殆ど論據を失つた暴論である。過去の時代に於ける倫理觀としては目的と手段との有機的關係が曖昧であつた爲めに、目的は手段を神聖にすると考へたのであるが、今日の進歩せる科學的倫理學から見れば誤解の甚だしいものになつた。手段としての暴力革命の價値は今や科學的倫理學の上に於ては一顧の價もなきものにされた。

人間の人格は自由であり、自ら目的となり、自ら主宰となり、自ら自己を支配するものである。他人の手段となり、方便となつて束縛され脅威され、迫害される性質のものでは無い。これ等は皆な人生の目的に反する惡的手段であつて、人格的概念のない野蠻人の常套手段である。今ま有產階級がこの野蠻人の常套手段に相當する手段を以て無產階級を虐待する場合に、無產階級も同一の手段に訴へて對抗するとすれば同じく野蠻人として人格的觀念のない者にならねばならぬ。若しこれを正當防衞と考へて是認するならば、惡に酬ゆるに惡を以てすることが善になつて、善惡は本質の差でなくて、實用又は便宜になつて了ふ。けれども今日の科學的倫理學に於て、斯かる實用の手段として他人の人格を蹂躙することを或る場合に許容するが如き矛盾した思想は、道德的規範にはならない。又た人が我に對して惡を爲したから、我も亦た彼に對して惡を加へると云ふ手段觀は、未開時代の刑罰觀念であつて、斯かる報復主義は倫理上正當なもので無いことは最も明白である。

五　社會改造の唯一手段としての道德

さて上述の如しとすれば、社會改造の手段なるものは抑も何ものであるか。科學的倫理學に於てそれ程までに暴力革命の無價値なることを力說し論證し得るとすれば、社會改造の最高手段なるものは抑も何ものであると主張するのであるか。倫理學はこれに對して揚言して斷ぜざるを得ない。社會改造の最高手段なるものは、唯だ一箇あるのみ、卽ち道德是なりと。その意味は斯うである。社會改造の手段は人生の目的に於ける至善の觀念によつて可能された至善的手段に俟たねばならぬ。不完全なる社會制度は人生の至善を目的とし、その至善に肯定される至善的手段に由つて改善することに努力して、始めて成就されるのである。有產階級の壓迫と掠奪と慘虐に對しては、先づ無產階級が道德的に自覺して人生の善的目的と善的手段とに訴へて、有產階級の道德的自覺を促し、有產階級が自意識を以て自己の人格活動の發現として、彼等が行ひつゝある野蠻人の常套手段を自ら中止し、これを自決するの日を俟つのである。それまでは無產階級者は根氣強く、倫理學者の指導に從ひ、人生の善的目的と善的手段と

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

を學び、先づ己を修めて然る後に有產階級に對して人道を主張すべきてある。そして決して感情的な爭鬪關係を作らずに、人間の人格活動の道理から推して行くべきてある。そして飽くまでも至誠と勤勉と忍耐と博愛とその他一切の道德を實行し、又た宣傳して、有產階級をして道德的輿論の中に立たしむべきてある。そして彼等をしてその道德の威光に靈感させ、釋然として自決するの期を俟つべきてある。若しこの自決にして一度有產階級の一角に生じたならば、それは燎原の勢を以て一大風潮となり、道德的自覺者は雨後の筍の如くに生じ、數歲ならずして社會改造の實を擧げるの時が到來するものと想像される。これは科學的倫理學が人生の目的と手段とを論定する唯一の學術として、因果的に斷言し得るものてある。

マルクスが將來に於て資本制度は崩壞すると云つたのは、つまり人類の道德が發達して經濟的生活が人生の至善的目的と至善的手段とによつて改善されるからてある。マルクスがこの動因を革命と見たのは誤解てあつて、道德それ自身と見るべきてある。マルクスは道德に對する研究が足りなかつた爲めに、革命を持ち出したのてある。これはクロポトキンに於ても、レーニンに於ても同樣てあつて、科學的な倫理學的知識がない爲めに、社會改造の指導を過る言動に陷るのてある。

今日の社會改造論者の通弊は倫理學的知識の足りないことてある。曖昧な道德觀の持主が餘りに結果を急ぐが爲めに、無理な點が頻出する。社會の人心が過激化し、暴力革命を謳歌するはその爲めてある。彼等は道德を研究しこれを宣傳し實行することに從事せずに、暴力革命の研究と宣傳と實行とに沒頭して居る。これは昔からあり觸れた革命家の常套手段てあつて、道德の發達せぬ無自覺時代の蠻的手段てある。その爲めに社會は今以て修羅の巷に苦んて居るのてある。けれども、今後は斯樣な時代遲れな非科學的な蠻的手段に訴へて、社會改造の實を擧げようと思ふべきては無い。もつと賢明な合理的な科學的手段を講じなければならない。それには道德を措いて他に方法は無い。社會改造に志のある者が悉くこの道德の研究と實行と宣傳の爲めに努力するならば、暴力革命に腐心するよりも以上の成功を奏することは、科學的倫理學の結論として疑ふ餘地のないものてある。マルクスもクロポトキンもレーニンも今や過去の人てある。吾々は人生の至善を目的として至善的手段によつてのみ社會を改造し得ることを、絕對的原理として新生活に入るの期に近いて來た。これは道德的規範の必然的要求により無上命令として、道德それ自身の聲であるから、倫理學を科學的に尋究すれば何人の良心にも認識し得らるゝ思想てある。余は倫理學上より豫言する。社會改造の手段としては暴力革命は惡てあり凶てある。唯だ道德の進步と自覺のみが善てあり吉てある。吾々は暴力革命に就いては何事も知る必要がない。只だ科學的倫理學上の法則を研究し宣傳し實行して、この不完全なる社會をして道德的雰圍氣によつて取り圍めばそれて足りるのてある。改造は自ら行はれるのてある。これを措いて他に改造の手段を求めようとするならば、人生は遂に破滅に終るのみてある。(了)

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

醜き男女關係救治策

廓清會理事　高島米峰

◇男女の交際を盛にすべし

菓子屋の子供が菓子に對する慾望の淡白なのは、菓子といふものが、一向珍らしくないからである。吾々が米の飯と味噌汁とに對しては、たゞその必要以上を貪らうとはしないが若し山海の珍味で、晩餐でも饗應せられると、ツイ食ひ過ぎて、翌日は、胃散の厄介にならねばならぬといふやうなことが起るやうに、兎角、人間は、珍らしいものに對しては、逆上する、惑溺する。久米の仙人は、女の脛を見ただけで通力を失つたといふが、湯屋の三助は、全裸體の女の體に、親しく手を觸れて、しかも平然として、己の任務に服して居る。蓋し、久米仙は、女の脛が珍らしかつたのであつて、湯屋の三助は、女の裸體など、全く見飽きて居るからである。

若し、男女間の交際が自由になり、盛になつて、男は女に飽き、女は男に飽くといふやうなことになれば、男性に對する理會も徹底し、批判も出來て、戀愛關係などは、決して無暗に成立するものではない。從つて、若し、相互の意氣相投じて、婚約し同棲するとしても、それは十分に選擇された上のことであつて、その思想に於て、その趣味に於て、甚だしい懸隔がないのみならず、個性の上にも協調が出來て、彼の長は己の短を補ひ、己の長は彼の短を補ひ、互に相益し、互に相勵み、妻から言へば、夫は即ち良人であり、夫から言へば妻は即ちベターハーフである。此の如くにして、夫婦が別別の世界に住まなければならないやうな結果には、どうしたつてなりやうがない。破鏡の嘆も起らなければ、別に他に、共鳴者慰藉者を求める必要も起らない。從つて、醜き男女關係、變態的戀愛關係も、その起るべき可能性が無くなる。

◇男女の共學を盛にすべし

しかし、男女交際を盛にすると言つても、從來、異性に對して、何等合理的の訓練を施されて居ない現在の男女を、無條件に解放して、自由に交際させるといふことは、彼等自身の當惑は決して小さいものではないのみならず、無理解の異性の接觸は、必ずそこに幾多の犧牲者を出すことを免れない。勿論、何事を成すにも、全然犧牲なしに、出來るものではないから、多少の犧牲は、巳むを得ないとしても、若しこの犧性を、より少くする道があるならば、それを選ぶべきではないか。

Digitized by Google　　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

この見地からして、僕は、今、直に男女を解放して、無條件で交際を自由ならしめるといふことよりは、初等教育、即ちまだ性の自覺のない幼少の時代から、男女を平等に取扱つて、漸次、異性に對する合理的理解を持たしめるといふことを、極めて安全にして、穩健にして、而して且つ、最も有效な手段であると考へて居る。即ちまづ、小學校に男女共學制を斷行し、男女を同じ机に並べて、教育を受けしむるのである。未だ性に目醒めない男女は、共學によりて、男女平等の自覺を得るやうにもなるし、又、女は男の特長たる、活潑な氣質と强健な意志とに同化し、男は女の特長たる、美しい感情と、綿密なる思慮とに融和せられ、互に相映發して、人間の性情に、一大進化を促すやうになるでもあらうし、又、男が女に對する無理解な輕蔑と、女が男に對する無條件の自屈から、解放されるやうにもなるであらう。

斯くの如くにして、小學六年の間、共學制の下に、教育せられたる男生女生は、中等教育に於ても、亦共學制の下に、教育せられて、極めて自然の效果を收め得ること言ふまでもない。もとより、現今の高等女學校と、中學校との學科編制に於て、甚だしく出入があるからそれは、多少の考慮を費す必要はある。しかし、高等女學校にのみありて、中學校に全然缺けて居る學科は、家事と裁縫位のものではないか。家事に關して、現今高等女學校で教へて居る位の智識は、男子と雖も、心得て置いて差支ないことであるから、同時にこれを教へることに非難はない。裁縫の如き、現今は兎も角、將來は、到底各自の家庭に於て、各自の被服の始末をするといふやうなことの、出來ない狀態になつて、それは一切專門の職業者に委ねることゝなるであらうと思ふ。從つて、一般普通教育としては、女子に於ても、これを廢止して聊か惜しいところはない。又、存置を必要とするならば、それだけを女子にのみ、別に教へるといふことは、決して不可能ではない。

更に進んで、大學教育、專門教育に至つては、男女共學といふことに、何等反對すべき理由が發見されない。小學時代より、男女共に、異性に對する理解が十分に出來、女と雖も侮るべからず、男と雖も恐るゝに足らぬといふ確信が生じて居るから、その交際は、對等であつて、男が女を誘惑することも出來ず、女が男を誘惑することも出來ない。縱令、誘惑しやうといふやうな不心得なものがあつても、男女互に、十分に理解し合つて居る以上、自分の理性や感情が承認しないやうな相手に、一時の出來心で、誘惑されるやうなことは斷じてない。

即ち、男女交際の自由は、男女共學の後に來るべきものであつて、男女交際さへ自由に行はるゝならば、男女間の醜き戀愛關係は、根絶することが出來るとまではゆかなくとも、少くも、その數を減ずることを得ること極めて確實である。

或は、若し、男女共學制が徹底すると、……勿論それには利益も多からうが……女が餘り男を理解し過ぎて、男と雖も決して尊敬を價するものでないといふやうな考へを起して、結婚を望まないものが多くなりはしなからうか、と言ふ人があるかも知れない。しかしそれは、今現に、馬鹿に見える女を妻にして、滿足して居る男が大多數であるといふ事實から

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

推測しても、決して愛ふるに足らないことだと思ふ。元來、人間は、男でも女でも、愛されやうといふ心よりは、愛したいといふ心が強いのである。愛するといふには、自分より年も若く、智識の程度も低く、柔順で、温良であることを要する。この理由から、男は、随分長い間、骨を折つて、女に加工して、自分の都合のよいやうに、温良柔順なものに仕上げてしまつたのではないか。

ところが、女も、智識が進み、經濟的に獨立し得るやうになると、男に愛されるといふ位地に滿足することが出來なくて、男を愛しやうといふところまで進んで來る。苟も愛しやうといふには、年齢に於て、識見に於て、手腕に於て、自分よりは、低級の男である方が都合がよい。今でも、現に、そうした同棲者が、ポツ〳〵出來て居るではないか。

そこで、若し、男も女を知り盡し、女も男を知り盡して來ると、智識的に經濟的に劣等な男は、智識的に經濟的に優越なる、そして年長の女に愛せられ、智識的に經濟的に劣等なる女は、智識的に經濟的に優越なる、そして年長の男に愛せられるといふことになるのであつて、……悉くそうなるといふのではない……男女相互の徹底的理解が、結婚に累するといふやうな憂は、決してない。

◇道德的に覺醒すべし

吾々の責任、吾々の義務の中で、最も重大なものを求めるならば、それは、この社會を、吾々の祖先より受取つた時よりは、より美しく、より善く、より眞なるものにして、これを子孫に引渡すといふことでなくてはならない。それには、吾等の物質的方面、精神的方面の事業を盛にするといふこと、も必要であるが、中にも最も重要な仕事は、吾等の種族の保存と繁榮とである。種族の保存及び繁榮は、即ち生殖といふ大事業に待たなければならない、而して生殖は、言ふまでもなく、健全なる戀愛の結果である。

戀愛が、結婚といふ形式を經て、こゝに始めて、人間生殖の可能が保證されるのである。即ち生殖は、夫婦のみの特權であつて、その他の何人にも許されて居ない。然るに、未だ夫を有せざる女、未だ妻を有せざる男が、漫に生殖の事を行はむとするならば、それは明かに不道德であり、種の濫費であり、生殖器の妄用である。生殖器の妄用は、時々惡疾を感染して、種を毒することあるのみならず、人間の德性を傷ふこと、實に多大である。既に德性は傷つけられ、種は毒せらる、その間に產れたる子孫が、どうして優良なるものであり得やう。

『ひもじさと寒さと戀とくらぶれば恥しながらひもじさがさき』といふ、そのひもじさでさへ、これを、或る程度までの抑制は、出來るではないか、況や、命に別條のない性慾の抑制、それも絶對禁慾ではなく、或る時期に到達するまでの間の、抑制位が出來ないといふ道理はない。殊に、夫婦關係成立して、種族の保存と、その繁榮とのために、貢獻し得る境遇に在るものが、更に他に、不義の淫樂を貪るといふが如きは、上祖先を辱め、下子孫を毒するの罪惡、何れのところに向つて、これを償ふことが出來るとするか。

Digitized by Google Original from COLUMBIA UNIVERSITY

未だ配偶者を得ざるものは、生殖する資格なきものであつて、若し誤つて種を濫費し、生殖器を妄用せば、道德破壞の責を負はざるべからざることを痛感して、常に戰々競々として、過なからむことを期すべく、既に配遇者あるものは、一夫一婦は天理であつて、人道もその端をこゝに發するものであるといふことを覺悟して、斷じて、岐路に迷惑するやうなことがあつてはならない。

◇宗教的に覺醒すべし

前にも言つたやうに、男女關係は、神事佛業であつて、人間のみが、自分の勝手に、加工したり破壞したりすべきものではない。縱令、戀愛に失敗したとしても、活きて行くべき世界は極めて廣い、戀愛は、人生の一部ではあるが、その總體ではない。宗教もある、學問もある、藝術もある、産業もある、社會事業もある、戀愛に失敗して宗敎に活きた人は古來甚だ少くないではないか。勿論、宗教に失敗して、戀愛に活きたものもある。その他、戀愛に失敗したゝめに、藝術に活きたもの、學問に活きたもの、政治に活きたもの、殆ど數ふる遑がない。

一休和尚が『本來の面目坊が立ち姿一目見しより戀とこそなれ』と喝破したのは、入山學道の世捨て人、色卽是空と悟つて見れば、女を戀するにも及ばない、淫慾の奴隷になるにも及ばない、敎主と仰ぐ御佛の姿こそ、誠にこれ絕世の美人戀と言ふも、愛といふも、これを外にしては、何等の意義をも認め難いとするのである。しかし、一休和尚は、超世脫俗の人、吾等は在家止住の身、その間、多少の距離があるとしても、しかも、若し、宗教的に覺醒し、信仰の力に依つて生きてゆくことが出來るならば、劣情の抑制も容易であらうし、夫婦間の不滿不平も、緩和されやうし、從つて、婚未婚を問はず、男女關係は、極めて淸淨純潔を保たるゝこと、殆ど疑ふの餘地がない。

東北より

地方を旅行すると旅館の不完全、交通機關の不備、料理店等の繁盛、飲酒の流行等が著く眼に付きます、故に地方旅行は將來の爲めには懸材料多きことを思はしめますが吾々老人には之れが修養となる自己を靈的に導かしめ又同時に大に働かればならぬ社會組織の欠陷を見出します、近來次第に社會事業は官に在つても研究する樣ですが役人のすることは表面丈で實際親切に弱者の救濟などは覺束ないのでどうしても吾々一味の徒の骨折が必要と存じます宮城縣警察部長は縣下二十三署長に對し左の件を採用施行する件に付其可否を諮問する事となりし旨本日の河北新聞に見ゆ

○旅館に藝妓を招く事の可否

小生思ふに大概の縣では皆之を嚴禁して居るが宮城は之を公許し又は默認して居ることは大正の今日慨すべきことゝす、旅人の安眠を防害し又風紀を亂さんとする藝妓の宿屋入りは斷然嚴禁する樣何か善き材料あれば此際部長へ御郵送願いたきものです（有阪生）

Digitized by Google Original from COLUMBIA UNIVERSITY

現代の風紀問題に就いて

經濟會評議員
文學博士　井上哲次郎

△人間の根本慾道▽

男女の關係問題に就て人間の關係する重大なるもの三つある。その內の二つは、生物學上に云ふ所の生存慾と生殖慾である。そして此生存慾の一なる食慾と生殖慾の一なる色慾とは、人間の根本慾道であつて人生を支配してゐる。それ故に食慾のことより生存競爭が起るのであつて、吾々が生きて行くために生存競爭が起り、自然陶汰が行はれるのである。又吾々の生命には限りがある。大隈侯は百二十五歲說を主張して意張つて居られ、一般社會の人々より奇拔の如く感ぜられて居るが、矢張壽命には限りがあつて、天地の悠久無限なるに比するならば、此百二十五歲も一瞬時に等しきものである。人間その他の諸動物は個體として生命に限りがあるが、唯だ種族として永久に存續するのである。

此食慾、色慾の二つの慾望が、過去も現在も未來も、非常の力を以て支配するのである。世間に傳せらるゝ收賄問題は食慾又は色慾に關聯してゐる。また濱田榮子の問題も此の二道の關係がある。然し物質的のものを全部輕蔑すべきものでない。生命を與へられたるものを存續し、發展せんとする事は當然である。色慾も同樣である。此二つの根本慾道は人間及他の諸動物を支配するのである。又色慾は甚だ大なる關係があつて、種々の事件を惹起するのみならず、色々の趣味が伴ふのである。

△狐及鳩の夫婦關係▽

私は種々なる込み入りたる事を避けて、判知り易き例二三を申し陳べやうと思ふ。吾人人間は萬物の靈長であると申して、禽獸を輕蔑するけれども、此禽獸の內には却々吾々人間の模範とすべきものがある。その例を擧げると渡瀨庄三郎君は狐や狸を研究して居らるゝが、同氏は狸がその毛や毛皮の高價なることに依り、大切なる動物であると辯護して居らるゝのである。又狐は畠を荒す所の野鼠を殺戮すること夥しく、誠に大切なる動物である。そして良き皮が一枚千圓位もするのである。目下此狐を北海道に繁殖せしめてゐるが、雄狐が雌狐を妻とするには、相當に撰ぶのであるから、雌狐に遇つても、時には嫌ふて直ぐに夫婦にならぬことが往々にある。そして夫婦の關係は却々やかましく、頗る嚴正なものである。吾々人間は怎うであるか、此狐に優る事數等であるか、

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

又はその反對であるか大いなる疑問である。そして一夫一婦主義であつて、約一年間の交際を經なければ結婚せぬとのことである。

又鳩は夫婦の關係が嚴密である。此一年云々の事を、私が丘淺次郎君に質問した處が、同君は頸を捻つて考へて居られたが、然し此鳩に就き長き間研究した或る專門家が、さう云ふことを斷言して居られたのである。詩經には歀々たる雎鳩は操にありと申して、夫婦和合して而かも其の間正しき事を顯はして居る。吾々人間には親しくない夫婦がある。反目嫉視毆り合ひをやる人間は、此鳥に對して羞しいのみならず大いに之に倣はねばならぬ。それから此鳩は夫婦の關係が嚴重であるから、若し一方が死するならば、その生き殘つて居る夫又は婦は獨身でやり透うすので、却々嚴重な貞操者である。

△家とペリカンの美性▽

今一つ渡瀨君に聞くのに、或る時阿弗利加に大象を擊つて負傷せしめた處が、その子供と覺ぼしき小さき象二疋が、此負傷したる大象を連れて行くのに、小象は鼻を以て大象の負傷の箇所を卷いて行つたとのことである。又クロポトキンが相互扶助論に擧げて居る西比利亞の動物の話が多くあるが、それを拔きにして米のペリカンの話をするならば、恁うである。此ペリカンは餘程遠い所へ行つて魚を捕るのである。然るに其の内の一羽が病氣になつたので、他の一羽のペリカンが遠い海岸迄行つて、魚を運び其の病者を助けたとのことである。人間社會には强盜、毒殺等をやる。又人を穽に掛け穴に陷し入れて陰謀詭計を逞ふする。他の動物はさう云ふ卑劣奸惡の事をやらぬのであるから、人間の方が是等の動物に習はなければならぬ。

食慾色慾の二慾は人間其の他一切の動物にある。然るに茲に人間にあつて他の動物になきものがある。それは理性である。若し人間に生存慾、生殖慾のみならば、人間と他の動物を區別すべき特色はないが、唯此理性があるので、他の動物と區別することが出來るのである。此理性が二慾を律して行くものであつて、此處に尊き所がある。人間も盛んなる慾のために一時蔽はるゝことがある。戀愛は神聖なりと云ふが、その多くは肉體的感情の亢奮に由るものであつて、海の水の如きものである。太平洋でも印度洋でも、平靜の時と怒濤の時と非常の相違がある。一時的戀愛の感情があつて、確乎たる一定の目的がないのである。之を指導すること卽ち正しき方向に指導することに由つて、そこに人格が出來、意識統一を完成するのである。

△國民道德の刷新▽

正しき方向に指導すると云ふことに關し、ソクラテスの話がある。彼れは或る人相見に己れの人相を見せしめた。ところがその人相見が申すのに「淫慾情慾の盛んなる人である」とソ氏は之を是認して猶ほ付け加へて申すのに「但し私は之を制して居る」と。此制するのは理性の指導に由るのである。人間の高下は理性の人か又は肉體的の人かにある。孔子は却々此色慾の消息に通じて居つた人である。故に「未だ德を好むこと色を好むが如きことあらず」とか又は「其の若き時は戒むる色に在り」と申された。孔子は實に一般の人情を解し、却々立派に正しき行を守つた人である。

斯くの如く人間には二慾の外に理性があるために尊く、人間の人間たる所以、萬物の靈長たる所以である。今日の場合軍備縮小も大事な研究題目でないことはないが、それよりも國民道德の根柢を刷新することが最も緊要である。今や不正なる二慾の事件は數限りがない。又現下性慾問題研究の名の下に劣情を挑發することは、風紀を紊亂し風俗を頽敗せしむるものである。吾々は是等の不義邪慾を超越して、理性の大道を辿り、之に順應し以て人格の完成を期せなければならぬ。（本會講演大要、文責記者）

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

廓清に對する鄙見

文學博士　村上專精

□東西の純潔なる人格者

私は廓清會員の一人であるけれども、會の主旨に就ては充分諒解して居らぬから、徹底したお話をする事が出來ぬ。又廓清會の目的が果して貫徹することが出來るか何うかも判らぬ。即ち公娼廢止後如何に成り行くものか疑問である。總て世の中に判らぬ事が多くある。世人は學者になれば、何でも判るものであると思ふ者があるけれども、決してさうでなく學問をすればする程、判る事も多くなるが、判らぬ範圍が益々擴大せられて來るものである。それ故に學者は判らぬ範圍の廣く大なる事を誇りとするものである。公娼問題に就ては、私は若し出來ることならば、衞生上、經濟上、道德上、教育上、宗教上より考へ此惡制度を廢止したいと思ふのである。近時性的方面や性慾問題に關し、研究したり論議したりすることが、大いに流行してゐるが、私にはその理由が能く判らぬ。高島米峰君は、性慾は神の與へられた最も清き慾求であると云ふやうな事を申されたが、果してさうであるか何うか、是れも一大問題である。

それは兎に角として、維新前迄は大道に放尿しても罰せられなかつたが、明治維新となつてから、若し道路に放尿する者は罰金一朱に處すると云ふ明文が設けられた。吾々は誰れも糞や小便を垂れぬ者はないが、垂れるべき場所に垂れねばならぬ。最近「太陽」雜誌中に、不老長生に就ての古今の人物の逸話が掲載してある内に、ニウトンの逸事が載せてある。それを見るとニウトンは、八十歳になる迄毫も精液を漏したことのない、純潔なる人格者であることを告白してゐる。世には終身獨身生活を遂げ、眞に純潔なる事ニウトンの如き人は稀ではあらうが、偶にはある。西洋でも偉大なる人物になると、カントの如き立派なる人格者である。日本の高僧たる傳教、弘法、道玄の如き人々は、佛の慈悲に感激し修養の苦行を積むことに依つて、意思が一つに固まることが出來るのであるから、性慾の如きは之を抑へ透す事が出來たのであると思ふ。

□衞生、經濟の二方面

平安朝時代や鎌倉時代にも傑出した名僧が、相應に出たのである。凝然の如きも其の第一人者である。此凝然は東大寺戒壇院の僧であつて、仁治元年三月六日に生れ、十八歳にして出家受戒し、正元元年東大寺戒壇院の圓照に從ひ、具足戒を受け、それより諸宗の名僧に就きて顯密、禪實、教禪の教を究めた。華嚴教は尊勝院の僧正宗性に學んだ。其中戒律及華嚴の宗旨に於ては、殊に深く研究して餘

す所がない。我國古今僧侶多く、教典の著作少なくないけれども、研學の博き、選述の多き、業績の高き、一人にしてこれを兼ぬるもの、蓋し凝然を以て第一位に推すのである。著書の數の如きも八十二歳で歿せらるゝ迄を算ふるならば千三百何卷と云ふ多數に上つて居る。然るに前に申した凝然の師たる尊勝院僧正宗性は博學多才で、東大寺に多くの著書があり且つ自傳が書いてあるが、驚くべきはその自傳の内に他淫の事實が錄してあることである。

此性慾を正當に滿足せしむる事が神の命令であると云ふのは、一理なきにあらずである。眞に性慾より超越して純潔を守る者は、千人萬人の内の一人であり、稀有の特例である。廓清問題は難問題である。簡單に云ふならば、衛生上公娼制度は廢止すべきである。此制度存置のために、衛生上最も嫌ふべき特別の病氣に罹るのであつて、此淫色、亂淫亂行の害毒は實に甚しと云はねばならぬ。妓樓は實に梅毒の養成所、又は媒介所、傳染所であつて、大いに之を廢すべきである。一軒の家の便所其の他の不潔の場所が、廢し得るのであるならば、斷然廢すべきであると同一理である。又經濟上から考ふるならば、吉原遊廓のあるために、吉原の車夫やその他遊廓の恩惠に均霑して居る諸營業者は、此遊廓は誠に大事のものであると主張する、又税金の關係から云ふても必要のものだと主張する。併しながら活眼を開いて社會の全體より考ふるならば、全く不生産的であつて、遊び人と惰け者と放蕩者を造るのであるから、公娼を廢することが出來るならば、宜しく廢すべしである。

□道德教育宗教上より

又道德上より考ふるならば色々考へ樣がある。又色々の動機や關係より娼妓になるのであるから、一概に申されぬが、大體賣淫は倫理道德上許すべからざることは勿論である。私の宅に居つた下女が只今宇都宮の娼妓をしてゐるとの事である。私の家内へ音信があるので、私は家内に依つてその事實を知つたのであるが、實に憐れむべき事柄である。それ故に公娼を廢することが出來るならば、宜しく廢止すべきである。又教育は人格を高め品性を淸ふする。然るに公娼制度は有用なるべき婦人を無用の者にするのみならず、一種特別なる醜穢の空氣が漲つて、風俗が紊亂し、品性が墮落するのである。山田憲の如きは形式上に於て立派の教育を受けたる天才であつたけれども、根本の人格品性に於てはゼロであり駄目であると云はねばならぬ。

佛教の戒法には殺生、竊盗、邪淫、妄語、綺語と列擧してある。夫婦の中でも邪淫の事ないとは限らぬ。不正なる交接は禁ずべきである。邪淫中にも許すべからざる重き罪惡がからまつてゐる。現に濱田榮子及びその周圍にも、それを認むることが出來るのである。公娼の内にも淸淫ないとは限らぬ。併し種々なる弊害を醸す所の此公娼制度は廢し得らるゝならば、宜しく廢すべきである。唯爰に疑問なるは廢し終ふせるか何うか。又結果は何うなるかと云ふ事である。又現代は五六十年前に比するならば、男女の結婚期が餘程遲くなつた。是れも社會問題として考究すべき問題である。話は最初に立ち戻るが、公娼制度は一家の内の大用所、小用所の如きものである。之を公許する事は餘り立派の事柄でないから之を廢すべしと云ふ一點は、少しく思慮ある者の首肯すべき重要事であると云ふことを忘れてはならぬ。(廓清會演說要領文責記者)

Digitized by Google

Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

廓清に對する思想の推移

加藤咄堂

=□豐臣德川時代に於ける公娼の歴史□=

私が嘗て物理學を教へられた時、總ての物體は抵抗なき時その運動を止めぬと云ふことを覺えた。是れは確かに眞理である。又ロッス氏は云ふた。老人の社會は階級的であり、保守的であるが、靑年の社會は解放的であり、進歩的であると。德川時代は其の惰力が三百年の間繼續し、總て傳統的であり因襲的であり舊慣墨守的であつて、非常に習慣先例が重んぜられ、之に違はぬ樣にしたものである。年頭の祝詞にも『不相變』の言葉を用ゆるも、其の意味から出たのである。又德川時代には今の內閣員を大老と申し、それ以下の者を老中、若年寄と云ふ如く、總て老人が社會の表面に立つたのであるそして其の三百年を維持したるものは德敎である。

公娼制度は德川家康の時代に於て、その第一頁を色彩つた。尤もその以前秀吉は妓樓を柳番場の押小路、博多、大阪の新町、奈良に設置することを許した。蓋し當時に於ける狀勢已むを得ざるものがあり、且つその地方が移民地であるからと云ふ關係もあつた。北條早雲の都たる小田原が早雲と共に亡び、德川が覇權を握るに當り、當時の社會一般の人々は、德川氏が何處へ都を遷すであらうかと考へた。そして十中の七八迄は小田原であらうと想像し、然らざれば鎌倉であらうと想像して居つた。然るに德川家康は非凡なる英邁の人物であるから、深く將來の事を考へて江戸に定めたのである。江戸は最初移住民の寄り集り所であつたので、男女の關係の如きも奔放逸樂を擅にしたのである。又江戸の遊廓は最初生活の困難より起り、次いて各地より參集する移住民や旅客の夥しきために、非常の繁盛を極むるやうになつた。

=□德川氏の公娼制度に對する德敎的廓清□=

德川氏は此醜業婦が精銳なる武士の精神を墮落せしむるものであると云ふことに着眼し、一つの廓となし社會の制裁を與へたのである。日本橋竈河岸に吉原を設け、一つの布令を出した、それは遊廓は武士の入るべき所でない、若し入る者があれば刀を取り上げる。そして町人同樣に取扱ふと云ふてとてある。然るに此遊廓が益々風俗を亂し、淫風を盛んにするを慨し、斷然夜間營業を禁止することとした。由來遊廓は螢の如きものである。然るに此遊廓が夜間營業を禁止せられては誠に變なものである。太陽の赫々たる時には、如何なる

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

厚顔無恥の者でも行き得ぬのである。それ故に遊廓へ行くことに對しては、如何なる者も何となく羞恥の心が起るのであるから、自然と私娼が起る樣になり、又風呂女が起るやうになつたのである。

その後今の日本橋が江戸の中央となるので、此中央の場所に遊廓を置くことは甚だ可けないと云ふ議が出て、德敎政策上町端れに置くと云ふことになり、明曆三年一月丸山本明寺の振袖火事が起つて、遊廓が類燒に罹つた時、幕府に於て移轉問題が起り、本所か淺草かの町端へ移すことゝなつた。今の吉原は新吉原である。そして今は電車で行けるが、昔は勿論電車もなく非常に僻陬の地であつた。幕府は一萬兩の移轉料を下付して、こゝに移轉せしめ、夜の營業を許すことにした。そして風呂女を無代で吉原の遊廓へ遣り、家元は沒收することにした。德川氏の此目覺しき處置は、江戸の風紀を維持する上に於て效があつた。又大阪、京都所司代はあつたけれども、風敎維持の點に就き不充分であつたが、明曆三年の廓清的制度に依つて大革新を加へ、社會全體の風敎を維持するために努力したのである。

＝□マリヤ・ルイズボー事件と公娼廢止の斷行□＝

併し吉原の如き遊廓が出來たゝめ、此遊廓に於て放蕩淫逸を極め、豪華を誇るやうの風になつた。そして品川、新宿、板橋等にも遊廓が出來、私娼も夥しく出來たのである。此制度と風習が傳統的に維持せられて來たのである。夫れ抵抗力あるとき惰力は休止せなければならぬことは、物理學の原則である。然して我國に於て、國外には國交問題が起り來り、コンモルトペルリーの來訪に依つて、國內に於て開國、攘夷の國論が沸騰した。そして自由なる青年や有爲の新人物に依つて、我國の政治が一轉し、明治維新の鴻業が成し遂げられた。遊廓問題の如きも、之を廢止せなければならぬ機運に立ち至つた。その動機は明治五年のマリヤ・ルイズボー問題に依つて、その端緒が開かれたのである。

米國では南北戰爭の結果奴隷を廢止した。然るに明治五年南米の秘露國人が本國からマリヤ・ルイズボーと申す船に乘り込み、支那に渡りて支那人の奴隷二百人を買ひ集め、之を載せて歸國せんとしたが、暴風のために橫濱に避難した。所がその奴隷に賣られた支那人の一人海に飛び込み、日本の船頭に救ひ上げられて、その奴隷となる悲慘なる事情を訴へた當時の神奈川縣知事大江卓氏や參議副島種臣氏は血氣有爲の青年又は壯年であつたので、奴隷解放は文明の通義であるから、之を斷行すべきであると主張し、大英斷を以て其の奴隷となるべき支那人二百人を、その本國なる支那へ返したのである。彼等は實に老人の企及し能はざる自由にして痛快なる決斷をなし、且つ遂行したのである。秘露國人の幹部では、大いに怒り損害賠償を請求した。そこで其の是非曲直に對し當時最も權力あり聲望ある露國皇帝歷山王に審判を仰いだ。露國皇帝は審理の上「奴隷廢止は文明の通義であるから、之を犯すものは相當に罰せらるべきである。故に此不法行爲を發見し、之を放還したのは正義人道に據つたものであつて、法律上損害賠償の責に任ずべきものでない」と判決したの

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

である。そして其の時政府の當局者は日本にある公娼も奴隷に等しき者であるから、此公娼制度を存置する事は甚だいけないと云ふ事に氣付き、直ちに公娼廢止を斷行したのである。

＝□愛と力の兩柱に立つべき徹底的人生□＝

偖公娼制度を廢止して見ると、種々なる弊害が起ると云ふので、其の後公娼制度は再び公許せられたのである。その當時より五十年を隔つる今日、嘗て青年又は壯年たりし者も、今や古稀の老人又は故人となつてゐる。そして傳統的、因襲的にやつて來た事柄も多くなつた。抑も人間とは何ぞやとの問題は重大問題である。宗教家は間が脱けてゐる。此人間を餘りに神樣にしやうとする。今日の社會には人間を餘りに理想的に取扱ひ過ぎたり、又は其の反對に肉慾的禽獸に墮落せしむる兩極端主義がある。吾々は天を望むも足は地に就き居ることを忘れてはならぬ。又心は淸きを慕ふも體は本能的慾望を宿して居ることを看過してはならぬ。人間は由來善なるか將た惡なるかは、孟子荀子時代より論じて居る。善と見て任せては如何、又惡と見て束縛しては如何、要するに善と見るも惡と見るも、その一面を見て他面を閑却するものである。そして愛と力と相合して徹底せしめなければならぬ。斯くして始めて眞に人間を指導することが出來るのである。如何に千百の外的改革や改造を斷行し實施しても、人心の根本を覺醒し改造するにあらざれば、何等の效力がないのである。此點に就て諸君の自由なる判斷に任するのである。（本會講演文責記者）

若き英雄出でよ

侯爵大隈重信氏談

何時の世の中にも惡い事をする者はある、石川五右衞門が死んでも泥棒はと濱の眞砂は絶えないもので、此點は基督も孔子も見當違をして居た、併し惡いことをするのは決して善いと云ふのではなく昨今のやうに醜聞が絶えぬのは

□道義が頽廢した證據である

殊に官吏の服務規律に就ては死んだ伊藤なども大分心配したものである、今日では役人の巨頭連が平氣で惡いことをするやうになつた、昔は政治上の事は凡て女人に禁制の倶樂部で議論したものだが、此頃は皆んな待合で行はれて居る、吾輩なども若い時には隨分道樂もやつたが待合政治の非なることに就ては山縣にも伊藤にも度々忠告して置いた、山縣でも伊藤でも寺内でも大分道樂はやつた方だから現在の閥僚先生が美人を近づけたからと言つて

□燒餅を燒くのではないがこんなことはソツとやるべきことで大ぴラにやるべきことではない待合で大宴會でも開かなければ羽振が惡いやうな考へが流行し出したのは面白くない、先達ても常磐で現内閣、前内閣系の連中が一席寛いだ樣だが、四十人も寄れば五千圓位は朝飯前の事であらう、五千圓や一萬圓は僅な金にしたところが一體斯る御馳走の費用はどこから出るのか、あれは白井が幹旋したと云ふことになつて居るが其實早川が滿鐵の社長にして貰つたからお禮の心算でやつたのかも知れぬ政治上から嚴格な意味で批評すれば

□一種の收賄沙汰ではないか

之は僅に一例だが、最近の政治的犯罪を調べて見ると大抵待合の帳面に現れて居り、犯罪の背後に女あり不正の結託がある、こんな弊風は一世紀前、歐洲外交界に見る處であつたが、速かに改めるやうにしなければならぬ、吾輩なども在官當時屢々招待を受けたものだがまだ待合がどんなものだか知らぬよ、内閣が惡い事ばかりして國民の希望に副はぬやうになればいつでも叩き壞すまでサ其後繼者に憲政會の加藤が不評だとそんな馬鹿なことがあるものか

□總理大臣の候補者は一打でも二打でもある世間では清浦だ田だ、後藤だ、齋藤だ、加藤だのと噂するが是等の人々は一體幾つになると思ふか、ロイド、ジョージを見よ、彼は四十五六歳から十年間も難局に當つて庶政を處理して居るではないか、日本は一番新しい國で一番古い政治家ばかりを當にして居るが、こんな事では世界的の戰爭には勝てぬぞ、新聞記者でもよい、裁判官でも技術家でもよい、若い英雄が出て老人の天下を乘り取らなければ嘘だ、吾輩は何時も

□青年を鞭撻して居るけれども若い者が奮發しないで困つて居る後繼内閣を破壞する運動を起こせ、さうして憲政會が民意に副はれば憲政會を壞し政友會が醒めれば政友會も分裂させて局面の展開を圖るがよい、今日のやうに不自然に無活氣に固まつた政黨では戰爭心もなく世界と對抗しても落伍者となるばかりだ。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

賣笑婦と都市の影響（中）

横濱市社會課 木藤冷劍

（第六表）

○廓と市中賣價の比較表（大正十年五月調）

廓賣價は神奈川警察署へ屆出ある同地廓の定價表
普通店は富士見町宮瀬酒店、臺物は附近の私設市場調べ

品目	廓より客に賣付る價格表	普通店舖の價格	公設市場の價格	廓賣價と普通店舖との差	私（公）設市場との比較及差
キリン麥酒四合入一本	、八〇	、四八	不詳	、三二	不詳
エビス麥酒四合入一本	、九〇	、四八	不詳	、四二	不詳
日本酒四合入月桂冠一本	一、八〇	、九五	無類飛切上等、七二	、八五	一、〇八
日本酒四合入櫻正宗一本入	一、六〇	、九五	同上、七二	、六五	、八八
臺の物一枚	、三〇	、〇三乃至、〇五	五倍位	五倍乃至六倍	
遊客一人分五枚	一、五〇	、一五乃至、二五	〃	〃	

○眞金町廓の分は所轄署に屆出なし正確のもの不明日本酒四合瓶二圓位とのこと其他之に關する調査貸座敷事務所え二回回答方依頼せしも更に亡入違の事とて回答せず詳細目下不明（兩廓共回答し來らず）

次に娼婦と不良少年の關係に就て、浦和監獄川越分監の不良少年に就て調査せる統計表あり參考のため掲ぐ第七表の如し

（第七表）

○不良少年と娼婦の關係（浦和監獄川越分監調査）

種別	大正八年入監少年 人員	大正八年入監少年 百分ノ比	自大正二年至八年累計 人員	自大正二年至八年累計 百分ノ比
密淫賣	一六	二一、九	二六〇	三八、四
娼妓	◎一五	二、五	二一四	三一、六
酌婦	二七	三八、二	七九	一一、六
藝妓	三	四、三	一六	二、四
處女	七	九、六	六七	九、九
下女	一	一、四	一五	二、三
工女	三	四、一	一六	二、四
女學生	〇	〇	七	一、〇
主婦	〇	〇	二	
計	七三		六七七	

（社會と救濟）

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

不良少年と娼婦との關係に就ては大正八年迄の川越分監の統計を前段に掲げたるが今一層正確なる統計を横濱監獄小田原分監に於て最近の統計を得たるを以て追加する事とする。即ち左の第一表は大正九年中の細別を表し第二表は大正三年より大正九年迄の合計を表せしものなり。

此表によれば公娼に接せしもの、十五名私娼七名藝妓一名其他等にして合計にすれば公娼に接せしもの七年間の統計中に百八十二名私娼百十三名藝妓は僅か四名なりき予は第一表を見て驚くべき事は十五歳未満の少年にして二名十六歳未満にして三名の公娼に接せし不良少年ある事である。無垢の青少年が、恐ろしい墮落の巷に入る徑路を見て寧ろ戰慄に堪えないものである風敎上からでも是非公娼は廢止しなくてはならぬ若しそれができないならば張見世徹廢だけでも全國に及ぼしたいと思ふ。

大正拾年四月三十日發行(大正九年度)
第八年小田原分監少年受刑者統計案報

不良少年が初めて異性に關係せし年齢及異性の種類(大正九年)

初めて異性に關係せし當時の年齢	初めて關係せし異性者の種類 公娼	私娼	藝妓	下婢工女其他	計	異性未接者	計
十五歳未満	二	〇	〇	一	三	二	五
十六歳未満	三	〇	〇	二	五	九	一四
十七歳未満	五	三	〇	一	九	一〇	一九
十八歳未満	五	三	一	二	一一	八	一九
十九歳未満	〇	一	〇	〇	一	〇	一
合計	一五	七	一	六	二九	二九	五八

大正拾年四月三十日發行(大正九年度)
第八回小田原分監少年受刑者統計案報

自大正三年至大正九年 七年間不良少年と娼婦關係合計統計表

初めて異性に接せし少年收容年別	初めて關係せし異性者の種類 公娼	私娼	藝妓	下婢工女其の他	計	異性未接者	計
大正三年	九	一六	一	一二	三七	一一七	一五四
大正四年	三二	二一	二	三	五八	一一三	一七一
大正五年	五一	一三	〇	二	六六	一一八	一八四
大正六年	三九	二一	〇	一三	七三	一〇一	一七四
大正七年	三〇	八	〇	一三	五二	九二	一四四
大正八年	二六	七	〇	九	四二	六八	一一〇
大正九年	一五	七	一	六	二九	二九	五八
總計	一、八二	一、一三	四	五七	三、五六	六、三八	九、九四

此を以て見ても如何に不良少年が最初に關係せし婦人が娼妓に多きかを知るを得るのである最後に自治體の行政、市なり町なりは、斯かる娼妓、藝妓、等より何程の徴收金を取りつゝありや又近來問題の遊興税は何程なりやを調べし所、横濱市にて大正十年度の遊興税は、三圓以上の費消者に對し、百分の八を徴收して十日に一度宛納めしめ是が豫定額三十二萬圓なりといふ即ち外に、娼妓貸座敷、藝者より徴收する税金は第八表の如くであつて、横濱市にて現在遊廓所在地の外に關內、關外、磯子、本牧、戸部、方面の各藝妓を併せて(大正十年四月現在)千八十六人の藝妓あり之等より約十二萬六千六十九圓の税金を徴收し、外に酌婦より一萬七百九十六圓

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

を徴收して居るが之れを徴税統計にして見ると左の如くになる。

（第八表）

藝妓	娼妓	酌婦	遊興税	合計
一三六、〇六九圓	二三〇、〇〇〇圓	一〇、七九六圓	三一〇、〇〇〇圓	六八六、八六五圓

○娼妓と貯金（靜岡縣警察署調査）

横濱市にては病院に集りて、義太夫、落語を聞かした上、壽しや甘酒といふ慰安の狀態なるに靜岡市に於ては娼妓に貯蓄思想なく廢業後生活に困りて私娼の群に入る者等あるを遺憾とし署長が樓主と協議して同意の上娼妓に强制貯金をなさしめつゝありとの事を聞きし故往復葉書を以て問合した所、大正十年三月末日現在三千六百九十七圓也といふ回答があつた。それに依ると大正八年七月より初めて九年三月末に貯金者百八十三名（全娼妓人數百八十八名）にて九ケ月間に一千七百八十八圓に達し、夫より約一年後に二千圓増した勘定である。此方が汁粉や甘酒より遙かに效果多き事と思ふ。

靜岡市の貸座敷は十三戸にして娼妓百八十六名昨年より二名を減じ登樓人員（九年中）一萬一千七百五十名、費消金額五萬一千百五十七圓六十二錢に達し一人約五圓弱であつた。

神奈川縣下全體より見る時は娼妓二千〇四四人にして昨年より百十八名を增し登樓人員百三十六萬三千九百十三名にして昨年と比較して十三萬千二百三十人を減じてゐる消費額は六百十四萬六千二百十三圓にして前年度より百十三萬九千五百八十圓を増加して居る娼妓一人平均客六百六十六名に當り消費額は平均四圓五十八錢に當るといふ大正六年には平均一圓八十七錢であつた之に比較すると三倍になつてゐる最多いのは眞金町の平均五圓七十一錢平塚の二圓十三錢であるといふ。

高い物を賣り付けられて、惡い病を傳染されて、健康を害しても目がさめずに放蕩する人の多い事を悲むと同時に之等蕩兒の費ふ金が神奈川縣では、登樓人員が減じて散財金が増加してゐる。

吾等は元より斯かる惡業の轍廢さるゝ事を望み居る者なるが横濱市の如き大都に於て然かも比較的外國人の出入繁しき港の中央に張店を張つて遊廓を許可してある事を非常に悲しむものである一日も早く見えない所へ移轉さして勿論張見世は禁止すべきである移轉するまでゞも現在の市の中央にある廓の張見世は徹廢すべきである風敎上より見ても外見から見ても警察でもゴロツキの喧嘩沙汰の事故等は減ずるであらう斯くして一歩一歩と公娼廢止の氣運を早からしめん事を望むものである、と同時に賢明なる新任警察部長の英斷によつてせめて張見世だけでも徹廢して一人でも斯かる所へ行く青年を減ずるやうにと斯くは希望し居る次第である。

○彼等の健康診斷表

（第三表）

大正九年自一月至十二月娼妓名簿登錄者

眞金町、青木町、(以上横濱市)及保土ケ谷、川崎町、遊廓に昨年中娼妓名簿を登錄せし婦人を健康診斷所に於て診察せし結果左表の如くなり是を以て見るに娼妓となる以前に既に梅毒淋病に罹れる者非常に多きを見る。

種別＼月別	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	計
新規登錄者	四六	四八	三九	五八	四五	八九	六八	七一	五七	五三	七五	九九	七四八
同上罹病者	七	九	八	一二	一七	三八	二三	二四	一八	一二	二九	二五	二二二

大正九年自一月至十二月 密淫賣婦

種別＼月別	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	計
健康診斷ヲ受ケシ者	三八	三一	三〇	三二	四二	四〇	四三	四五	三五	四四	二四	四四	四四八
同罹病者	九	七	六	一三	一二	一九	九	一八	一五	一〇	一一	一三	一四二

大正九年自一月至十二月 娼妓健康診斷罹病者表

種別＼月別	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	
健康診察ヲ受ケシ者	五、三二五	五、〇九四	六、三〇八	四、八四八	四、八一八	五、九五二	四、八七六	六、一一三	四、九八三	四、六三四	六、一九〇	五、〇二八	六四、〇五七
同上罹病者	九九	六四	七六	八六	一二三	一五八	一〇八	一四八	一〇二	一二三	一一七	一〇三	一、三四三

以上眞金町、青木町、川崎町、保土ケ谷、各廓合併せしものにて橫濱健康診斷所の診察になれるものなり之が病名別は別表の眞金町病院の成績に詳しく記述しあり。前表密淫賣婦健康診斷表は伊勢佐木、神奈川、壽、山手本町、の各警察署にて拘留に處せられし酌婦等の健康診斷を受けし者にて何れも健康診斷の結果四分の一以上乃至三分の一、の罹病者である。

前號に眞金町病院入院患者の情態統計を記述せしが聊か

前後するの嫌いはあれど健康診斷所の統計を示す事とする。

昨年中に於ける眞金町病院附屬健康診斷所に於て診斷せし新に娼妓となれるものは七百四十八名にして（川崎町、保土ケ谷町を含む）内有毒者二百二十二名ありといふ之を以て之を見れば彼等の前身が如何なるものかは略想像が能る事と思ふ。嘗て「新愛知」主筆桐生悠々氏が公娼論を論じたる一節に「公娼は碌でなしの少しも自覺のないやくざが女の中のやくざ女が落込む穴である」と論ぜられたるが健康診斷所の登錄者に如何に罹病者の多きかを見る時此言が當れるを思ふ。神奈川警察署調査による大正九年中の登錄娼妓六十八名の内廿五名は前稼業經驗ありとの事なるが殘る四十三名も私娼なり密賣婬婦なりにして頗るやくざ者の定めて多い事て之迄何度も花柳病に罹つた連中の多い事と思ふのてある。

○犯罪者の關係

横濱監獄に於て調査になる入獄者の犯由別なるものを見るに大正八年中犯罪入獄者は一千二百三十五名に達し其犯由は常習者を除くの外遊蕩のために罪を化せし者最多を占む卽ち次表の如くてある。

（刑事統計）　大正八年自一月至十二月新受刑者犯由別　横濱監獄調

強慾	一〇一	怠惰	一六九	間食	一九	其他	二
驕奢	一一	射倖	一四三	嫉妬	一	計	一二三五
遊蕩	一八九	忿怒	三	出來心	八五		
常習	三四三	怨恨	六	營業の失敗	一		
耽酒	八七	貧困	一九	不時の災難	一		
酒興	二	誘惑	五	生育不良	二四		
酒癖	一三	虚榮	六	家庭の不良	五		

之を以て見ると、犯罪をなす原因は常習者次に遊蕩、怠惰射倖、酒といふ順なるが今も昔も救世軍の軍歌てはないが猥らがましい行いや丁よ半よの爭と赤い面して騷いだ揚句赤い衣物で苦勞する人の多きを見る。之が年齡を見るに二十歳以上三十五歳未滿の竊盗最多を占む之を警察官に聞く所によれば遊廓內に於ける犯罪の最多數は傷害事件てあると之はゴロツキの喧嘩や遊浪人の喧嘩の多きを以て見るを得べし、之を昨大正九年取扱いたる犯罪件數を遊廓所轄壽署に於て見るに比較的傷害事故多きを見た。

壽署は竊盗一四三に對し傷害一二八に當り遊廓なき所轄は戸部署竊盗一〇七四件に對し傷害七十一件に向へり廓內に於ける傷害沙汰多く犯罪原因には遊蕩の結果なるを見る事が出來る。予は最近驚くべき事實を耳にした。前稿に不良少年と性的關係を述べたるが神奈川縣下に於ては小學生徒が群をなして登樓し、一回に十圓乃至六七圓宛費消數回に及び樓主は拘留に所せられた事件がある六月廿九日、卅日の京濱地方の新聞紙は「小學生の遊廓通い」と題し中郡平塚町の五名の小學生徒は不良少年團を組織し各所に跋扈し婦女子に戲れなほ中には高等一年生もあり六月廿一日以來數回に亘り一回六七圓又は十圓費消せるを大磯警察署にて探知取調べの上親を呼び出し引渡し、右小學生徒を登樓せしめたる東樓主杉山昌夫は十日間の拘留に所せられた事てある。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

婦人の解放に就いて

高島平三郎

□眞の意味の婦人解放

時代には色々と刺戟語があつて、多くの人の胸を躍らすのである。例へば先年世界的大戰爭の時、米國ではデモクラシーと申す言葉が頻りに流行した。日本でも官僚打破とか、解放とか云ふ樣な言葉が、一の刺戟語として用ゐられたのである。大體婦人を解放すると云ふ事は、婦人に對して失禮の言葉であるが、その原因は婦人の無智にある。丁度中世紀の歐羅巴の婦人が、その夫から二と二を加へて幾つになるかと問はれ、女が合はすれば三、男子が合はすれば四になると教へられて居つたが、其の後知慧の實を食べれば默つて居られぬ。又解放とは如何なる意味を有するか、又その意味が定まつたならば、之を是認すべきであるか否かを考へて見なければならぬと思ふ。又新聞雜誌其の他に無巳に此解放を唱ふるため婦人自身のため、却つて不幸でないかと云ふことを能く考へて見なければならぬと思ふのである。

往年高楠順次郎君が印度のニポールに往かれた事がある。由來ニポールは他國人を入れない。高楠君は英吉利政府の許可を得て、漸く色々な手續を經て這入つたさうであるが、ニポールの王は却々開けて居て、英吉利へ行つたこともあるので、高楠君は王といろ〳〵の話をした。「何うも貴方の國はもう少し教育を盛んにして、國民を啓發してはどうか」と申した處が、王は卽座に「それは以ての外のことである。此人民は斯うやつて四面閉鎖されて、誰も這入つても來ぬ處に住ひ、何も知らずに是て滿足して居る。茲は彼等に取つて誠に樂天地である。然るに之に色々のことを教へては、却つて彼等を不幸にしてしまふ。教育などを彼是云ふことは以ての外のことである。」と言うたさうである。其處で高楠君は國王の言に就いて色々と惑つたと云ふ事を、同君の歸朝當時私は聞いたことがある。然し是はどうも人道上から見ても、勿論正當の事ではあるまい。矢張婦人解放の順序方法を考へ、その人民の幸福を圖るべきである。

□婦人解放に關する諸說

婦人解放の痛切に感ぜらるゝ事は、政治上の權利問題である。參政權問題である。然るに政談演說を聞くことや、又は政黨に入ることが許されぬとか申す問題に彷徨して居ると云ふことは、誠に心細いことゝ思ふ。又ギヤルマン夫人の如きは、

殆んど性の區別を認めずして、婦人問題を解決せんとする人である。そして男女の區別を用ゐずして解放すべしと主張してゐる。ジヨンスチワルドミルは英吉利の「ピープルスピル」の中に「マン」と云ふ字があつて、これは意味の採りやうに由つては女には當らぬ故、「パーリン」と直せと言つた所が聽かれなかつたと云ふ位であるのに、それを今日ではギルマン夫人の如き人が出て頻りに男も女も人である故、同じ人としての立場から總てを解決して行かうと云ふ様になつた。併しながら一切の男女の區別を無くして仕舞つて、男のすることは女にも出來ると云うて、男女をすべて同一にすると云ふことは文化の逆轉であると思ふ。今日見るが如く男女の區別が著しくなつて、文化が進んで來たと云ふことは、詰り性の適する所に從つて分化して來た爲めである。併しそれが爲めに權利であるとか道德であるとか云ふことを、男女に由つて區別する理由はないと思ふから、男女の性を超絕して、唯、人と云ふ上に立つことを賛成し、我國に於ても婦人の解放に向つて論據を進めて行きたいと思ふ。

併し之に反對して婦人に參政權を許すと、皆家庭を外にして政治に奔走し、婦人の特色を失つて仕舞ふてあらうと云ふ論據から之を非難する者もある。例へば同じ婦人の解放を叫ぶにしても、婦人のために非常に氣焰を吐いて居る所のエレンケーなどは、婦人が社會上の事に奔走したり、色々の職業に從事したりすることを非難して居る。そして是は「サードセックス」(第三性)であつて、男でもなく女でもない人になつて仕舞ふと非難して居る。成る程其の事は考へねばならぬけれども、それに由つて今迄婦人に對して、女であるから斯うせねばならぬ、道德にしても男子に許して居ることでも、女子には許さぬと云ふやうなことを認めることは出來ぬ。併し是れは一面から見ると、其の時代の要求に應じ、さう云ふ風にして多くの婦人を保護する爲めに起つたもので、寧ろ婦人を愛し、婦人を大切にすると云ふ考より生じて來たものもあるてあらう。是等のことは今後婦人の解放を叫び、又實際解放するにしても、能く考へねばならぬことてある。

□理知と感情の具備せる理想的結婚

今日職業に就ては婦人は解放されて、何の職業は婦人に出來ぬとか、婦人がしてはならぬとか云ふやうなことは無くなつた。婦人の奏任官も勅任官も出來た。併し我國の社會に於ては、道德に於てまだ多少男女兩性の區別があつて、女てあるからと云ふので、特に非難されるやうなことは、今でもあるやうである。此「女であるから」と云ふことは、好い意味に於て即ち婦人を保護する意味に於て使はれるならば、是れは永遠に婦人が假令全く解放されても使はれて宜しいと思ふ。其の替り「男であるから」と云ふことも使はれて宜しいと思ふ。例へば英國人の誇つて居る「スヰートホーム」に於て、男子を敎ふるにどうてあつたかと云ふと、「お前は男であるから強い。強い者はそんな柔らかい椅子に腰掛けるものてはない。併し女は弱いものてあるから、柔かい椅子に腰を掛けさせてあげなければならぬ。お前は男だから強い」と云ふと、子供は喜んで堅い椅子に掛けるといふやうにしたさうてあ

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

る。お前は男であるからと云つて女と區別することは、一の自分の「ブライト」として堅い椅子に腰掛けて、我慢をすると云ふやうになつて來るのである。而して女が來ると立つて席を讓るやうにもなるのである。電車に乘つて居ても、女が來ると自分の折角得た席を直ぐに讓つて、自分は鹽鮭のやうに革の紐にぶら下つて立つて居るやうなことがある。それで今言つた樣に男女何事も全く同一にして仕舞ふと云ふ必要はない。兩性に從つて別にして宜しいこともある。

それから又エレンケイの方は、ギルマンには反對して、全く性を中心として戀愛を主にし、結婚ても何でも戀愛を第一主要の條件として居る。戀愛の成立つ處には道德があり、戀愛を以て成立つた結婚ならば、形式の如何に拘らず是は正當のものであると主張するのである。是は一面今迄の色々の形式的、强制的結婚に對し覺醒を與へ、且つ婦人を解放したけれども、其の替り是れがために隨分害を受けて居る。現に我國ても餘程さう云ふ風にかぶれて、種々の悲喜劇が演ぜらるゝのてある。又人の心理狀態殊に感情の性質を考へて見ると隨分危險なことてある。戀愛は盲目なりて此種の感情は理窟を考へて起るものではない。そして是等の感情は永續しないので、非常に强い熱情があつたが、それから醒めて仕舞へば馬鹿見たやうな者になり又餘計嫌になつて仕舞ふ。感情は對比的のものであつてその例は澤山ある世間には情死をするものがある。情死と云ふこと程痛切な情はないてあらう。到底此の世ては添はれぬ故仕方なく一緒に死ぬといふことになるので、死んて仕舞へばそれて「萬事休す」てあるが、それが幸か不幸か一旦死んだ者が助かつて再び生きることがある。生きた後にはもう再び互に一緒になる心は起らぬものださうである。私は情死を研究した人の書物て、右の記事を讀んだことがあるが、生存後は互に非常に嫌になるさうである。人間はどうしても理智を離れることは出來ぬ。理智の働きから絶對的に離れて仕舞ふとは危險てある。理智を以て正當に判斷し、假令或る部分は嫌でも連續を保つて行かなければならぬことがある。其の他勞働問題にしても、小學校の敎師に就いて考へて見ても、男子に對して高い俸給を拂つて、婦人は同じ仕事をしても等差を付けると云ふ樣なことは、どうも婦人を拘束して居ることとてある。昔からの男尊女卑の考て婦人を拘束して居ることは、無論破つて往かねばならぬと信ずるのてある。

□精神的にして自律的なる婦人解放

斯う云ふ風に外面上法律的にも政治的にも社會的にも勞働の方面に於ても、不公平なことは皆取去つて婦人にも適當に男子と同樣な人としての權利を與へ、待遇を與へると云ふことは當然のことてあらうから、かういふことは段々行はれて來て居るから、全く公平になるのは最早時期の問題てあらうと思ふ。最近の世界的大戰爭に依つて、婦人も殆んど男子と違はぬ務を盡した。戰線に立たなくても、兵隊と同じ樣な務を盡したから、男子と同じやうな權利を與へるが適當なことてあると稱へられるやうになつた。併しながら是等の解放よりも、一番大切なるものは何てあるかと云ふならば、精神的解

放てあると思ふ。全體道徳には「ヘトロレミカル」(他律的)のものが先づ現れて、只社會的法律的制裁など外面の制裁を怖れて惡いことをしないと云ふ風になつて居るのである。併し是れは純粹の道徳ではない。

純粹の道徳は自律的のものでなければならぬ。之と同様に婦人を解放すると云ふことも外面のみの解放になつて仕舞つては面白くない。眞の婦人の解放は婦人が「オートノミカル」(自律的)に自分で自分がどう云ふものであるかと云ふことを知り、さうして事に當つて是は正しい、是は曲つて居る、是は爲すべきことか爲すべからざることかと云ふことを、自分で判斷するやうにせねばならぬと思ふ。言ひ換へれば眞の自覺の上に自己決定を行ふ所の主觀的、精神的解放が一番大事であり、急務であると思ふ。然るに是がまだ出來て居ずに、突然に法律を改めたり、或は待遇を同じくしたりしても仕方がない、自分の内面から眞に止むに止まれぬ心から自律的に行ふと云ふ風に導いて行くことが、眞のエマンシペイション(解放)であつて、外面的のことは、それから次第に起つて來るのが當然であると思ふのである。

□婦人解放の先行條件たる經濟的獨立

勿論今日我國に於て婦人の解放運動をして居る人々の中には、立派な人格を持ち自覺を持つて自分で判斷をして行き、只外面の毀譽褒貶などに拘らぬ人もあらうから、是は大さう心強いことであるが、今日倫理政策として婦人を啓發して行くと云ふことに就いても、只婦人の解放と言つて婦人に參政權を與へよ、婦人にも男子と同じに經濟の獨立をさせよ、婦人も議員にせよと色々のことを唱へるよりも、婦人の人格を尊重して、男子が高い教育を必要とするならば、婦人も男子と同様に婦人に適した所の高い教育を受けしめて、婦人の人格を、もつと向上せしめるやうにすることが必要であると信ずるのである。

それ故に外面的要求や解放よりも、寧ろ其の根柢となる所の内面的思想的精神的の方面に於て、先づ婦人を解放する事が大事であると思ふ。それに就いては矢張り色々の事が關聯して來るものであるから、突然に斯ういふ事を宣傳して今日の社會に合はぬやうなことをすると、先きに申したやうに却つて婦人を不幸にする様になつて來る虞があるから、精神的解放を行ふにも細心の注意を要するのである。

それに就いて最も大切な先行條件は經濟的の獨立である。生活の形式が斯う云ふ風になつて來ては、何うしても各個人に經濟の獨立がないと、其の爲めに自分の人格を無視されても泣寢入をしなければならぬことが起る。今日我國の大多數の婦人が男子の不品行、男子の壓制、男子の不條理に泣きつゝ服從することになつて居ると云ふのは、詰り經濟の獨立がないのが主なる理由であらう。されば婦人の解放は一面精神方面を啓發すると共に、他面どうしても經濟の問題に觸れて解決して來ることが必要である。要するに解放と云ふことを今日の刺戟語として宣傳するには、相當の注意を要するのである。固より婦人の解放は正當の事であるから、段々行はれて來る事に努めればならぬことであるが、その實現の順序方法に就いては、殊に注意警戒を要することゝ考ふるのである。（講演要領、文責記者）

社會運動者と官憲の取締

辯護士 布施辰治

眞理への通路

私は我國今後の社會運動者として、最も有力なるべき諸君の御來訪を特に光榮として感謝致します而已ならず、所謂自己革命を斷行して社會運動の鬪卒を任じた革命戰の本城たる新宅開きの集會として此處に平民大學の夏季講習會を開き得た幸先を喜び度いと思ひます。

、偖て、私今晩の御話は、社會運動者と官憲の取締と云ふのでありまして、特に社會運動家と警察官の爲に幾分の御參考にもと云ふ考から、聊か調査いたしました意見を述べて見たいと思ひます。併の此問題の範圍は餘程廣いのでありまして、其の廣いまゝの題に添ふ御話をする事になれば、所謂社會運動に對する官憲一切の取締りに就て餘す所なく御話せねばならない。けれども、社會運動に對する當然の取締りに就ては、敢て此處に申上ぐるの必要を認めませんから、所謂社會運動者に對する官憲の取締として聊か疑問に感ずること、若くは不當ならずやと思はるゝ事等に就て御話する事に題意を限り度いと思ひます。但し、此の問題に就ても又、新らしい一般の運動と司法裁判に關して私の述べたい事は澤山ありますが、其れは暫らく省略いたしまして、特に社會運動者の取締り――直接の衝に當る警察官の爲に、社會運動家と警察官とが相互に考へて頂きたいと思ふ事項だけを限りて申上げます。換言すれば、社會運動家と警察官憲とは今後の社會運動に對して、如何なる態度と覺悟を有たねばならぬかを御話したい、今日までの警察官憲と社會運動者とは兎角に意思の疏通を缺き、亦互に感情を傷ひ合つたり闘ひ戰ひつゝあつたのであります。隨つて今後も亦、然かあるべしと云ふ假定の下に其の覺悟と用意とを說くのであります、が、しかし、社會運動者は元より人生の徹底思潮に其立脚地を置くのでありますし、一方警察官憲と雖も、同じく人である以上、時に人生の本然に立ち還る眞理の欣求者として互に握手することが無いとも限らないのでありますが、果して、社會運動者と警察官憲の握手する時代ありとせば、現に取締られつゝある人と取締りつゝある人との間に於て、何れから何れへ眞の共鳴と了解とを得る道が通ずるであらうか――此問題に對する二三の注意點をも序でに述べて見たいのであります。私が今度斯樣な講演を試みる事は平民大學の講習生諸君の爲には誠に御氣の毒な程警察官憲の爲になるお話であるかも知れない。併し乍ら、平民大學の夏季講習今日までの模樣を新聞紙上にて承

ると、講習員が僅か五十名位の處へ警察官が二百人も三百人も押しかけて來るとの事でありますから、民衆政治は一種の多數主義なりとの原則に從ひ、多數共通の利益となる御話をすることが元より當然の事と考へたからであります。

ブラック、リスト

私は此より私の見聞して居る事實に基き、其一段一節を述べながら、此の事實に對する私の意見を加へて行きたいと思ひます。先づ社會運動者に對する官憲直接の取締として今日警察の行ひつゝあることは要視察人、即危險人物として黑表に登錄するのが其第一段であります。其處で此要視察人としての黑表登錄とは何んぞやと云ふに、今日の警察官憲は一般人民居住區域の所管に從つて、相當の注意警戒を施して居るのであるが、如斯き一般人民に對する注意警戒としての戶籍調べや、其他の保護視察に非ずして、一般人民の居住管內に於ける特殊の要視察人として、危險防止の爲に危險物扱ひをするのが要視察人の黑表登錄であります。つまり何か惡計みをしさうな人間だと獨斷して危險視するのであります。モット詳言すれば、思想の危險、行爲の危險等を氣遣つて、其の人物の一擧一動に特段の注意警戒を拂ふのであります。然らば其の形式は如何にするか、即ち如何なる方法によつて斯かる要視察人として黑表登錄をするか、亦要視察人として黑表登錄をした後に如何なる取締を爲すかといふ事は自ら二つに分かれて行くのであります。

第一に如何なる方法によつて要視察人としての黑表登錄をするかと云ふ事より御話いたしますが、何時頃からといふ年代は明かに判りませんが、各警察署に其所管內の居住人民に就て、視察上の種類を分つた帳簿が出來てゐるらしいのであります。其の中以前は舊刑法による附加刑の監視制度勵行の爲に之を作製したのと、一つは警察の犯罪搜査に就て岡ッ引時代の目星檢擧を行る爲に、平生ノラクラして居るやうな前科者の氏名を止めて居つたのが段々進化して、後には所謂高等警察としての政治問題、思想問題等に付て時の政府の施設を攻擊し、若くは時の政府の好まざる思想傾向を强調せんとする者に對して特段の注意をする爲に、所謂要視察人としての黑表登錄をする事に爲つたらしいのであります、が、前に述べたる前科者とか亦は監視人であるとか云ふ者に付ては、前科の刑の確定したる檢事局からの通知があり、或は監視刑の執行に就て、監獄からの通知があるのでありますから、黑表に登錄すべき人物の詮衡に何等の面倒を要しませぬ、けれども、所謂社會運動者に對する官憲の取締として之を黑表に登錄する場合の人物の詮衡はそう簡單な形式による事が出來ない。

然らば、如何なる方法によつて此の人物詮衡を爲すかと云へば、先づ時の政府を攻擊する目的を以て出來た雜誌、若くは、時の政府の好まざる思想傾向を强調する雜誌等の關係者は勿論、之を購讀する讀者をも取調べて、其の購讀者中平生の言動より察して運動的の氣魄を有する者を要視察人として黑表に登錄するのであります。

生活の壓迫、感情の賊

次は前に述べた如うな政談乃至は思想

上の演說會等に屢々出入する者に注意して居つて、其等の人物の平生を調査し、前同様幾分なりとも運動的の氣魄を有する者を黒表に登錄せらるべき人物なりと定めるのであります。尙ほ個々の特殊なる注意を拂はるゝ者は、彼の何々主義者と稱せらるゝ人の家を訪問したり、或は手紙の往復等を爲す者を黒表登錄に値すべき人物なりと定めるらしいのであります。而して斯くの如く詮衡も終り登錄も濟みたる後は、如何なる取締方を爲すやと云へば、其れは決して正しき意味の取締に非ずして、寧ろ其等の人達に對する生活の壓迫、感情の殘賊等、總ゆる不都合を極めるが如くに考へられるのであります。事實としての例を申せば、先づ一番ヤサシイ所で本人に知れない樣に其の旅行先、若くは來往者に就て蔭ながら注意を拂つて居るのであるが、更に一歩を進めたものは、直接本人の所へ月に一回、或は二回甚だしきに至つては、每日の如くに訪問して他との交涉來往を確かめるが如き事をするのであります、が、しかし如斯き訪問視察によつて、如何に要視察人の言動を確かめんと致しましても其れは不可能なる事であります。何人と雖もあまりに煩さき訪問に厭氣をさゝれない者はありません、一般の人に餘り喜ばれざる警察官憲の煩く訪問する事に對して、敢て好感を持つ者はないのでありますから、如何に煩く訪問し、如何にしつこく聞き訊しても分りやう筈はないのであります。此處に於て頑迷なる警察官憲今日の遣り方は、一層の事其人をして何事をもさせないやうに其の活動を邪魔する爲に訪問して長話をするといふ如うな事をするのであります。斯くして、社會運動者と警察官憲の間に醸さるゝ衝突の事例は後ちに申上げます。其他要視察人としての黒表登錄者に對する適法の取締に非ずして、寧ろ前に述べた如うな生活の壓迫、感情の殘賊等を敢てし、之を官憲の取締なりと心得て、近隣知己友人等に煩く本人の行動を訊き、若くは其の行動に付て偏頗なる批判を加へて遠巻きに其行動を牽制するが如き事を爲すのであります。而して此の批評や調査によつての行動牽制が其の度を過ぐる爲に、根もなき中傷讒誣となつて社會運動者を苦めて居るのが、所謂要視察黒表登錄の取締りであります。

黒表登錄は人權蹂躪なり

以上述べたる處は、要するに社會運動者に對する警察官憲取締の第一種でありますが、斯くの如き取締りは元より社會運動者の大に苦痛とし不快とする所であります。其の思想を壓迫せられ、其の生活を破壞せられんとする不安に襲はれ、亦美はしき人間としての感情を害されんとする要視察人としての黒表登錄や、之に基づく觀察取締を喜ぶ者のない事は自然當然の事理であります。又此の如き取締を社會運動者に加へて居る警察官としても人としての本然に立つて自ら思想の自由を喜ぶものであるならば、他に對する思想の壓迫を喜ぶ筈はないのであります。又自己の生活に安定保證を求むる者であるならば、他人の生活の安定を破壞せんとするが如き事の出來やう筈はありませぬ。更に美はしき感情を有する人間として其人間的感情を誇らんとする者であるならば、他人も亦左樣した美はしき感情の所有者たる事を喜ぶのが當然であつて、他人の不快を顧みず其の感情の殘賊を喜ぶが如き筈はないのであります。之を要するに以上擧げたる要視察人としての黒表登錄の如きは觀察せらるゝ者も登錄せらるる者も又、必ずや不快なる事に相違ないのであります、がしかし、法治主義を採れる立憲治下の國民として、所謂立憲政治が最善の政治形式なるや否や、所謂法治主義が果して完全なるものなるや否やに就て疑あり論ありと致しましても、今日の處、社會運動者に對する斯樣な取締方法が法律上許されて居るものだとすれば、其は法律を改正せざる限り如何に取締らるゝ者が不快であり、如何に取締るものが厭であつても其れは餘儀なき事であります。併し乍ら、私の研究によれば社會運動者に對する黒表登錄の特別視察は、司法警察として考へても、亦行政警察として考へても、共に何等の法律的根據を有せざるが如く信ぜらるゝのであります。果して然らば、法律上何等の根據なくして或種の人物を危險視して扱ひすることは、一種の人權蹂躪なりと云はなければならないではありますまいか。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

貞操と形式

水津千雲

〔一〕

女子の貞操を強ゆる前に男子の貞操も亦強いなくてはならぬ筈であるが、男子の貞操よりも女子の貞操は一層重大なもので、若し女子にして貞操が亂されたといふと、日本に於ては少くとも其女子は再び立つ事が出來なくなることが多い場合が多い。

其理由は次ぎの一節に述べるとして女子の貞操を守るといふことは多くの女子が大概に知つて居る。知つて居つて尚且貞操を破り破らるゝのは智識教育のみに重きを置く弊で、何等茲に訓練が伴うて居ないからである。訓練の伴はない理屈は無益有害である。精神に於て貞操の重要なる事を自覺して居ればなどゝ、憶面なくよくいふ人があるが、人生の環境といふものはそんな單純なものではない。高い山も底い谷も溪流も濁流も茫々たる原野も欝蒼たる森林もある。此場合に處して獨り自己の貞操を嚴守しようといふことは、家庭の人となつて以來嚴肅なる訓練のもとに生育した女か、さもなければ難關を切拔けたものでないと、とてもほんとうの貞操を守る事は不可能といふことが出來る。

この訓練には多くの時間を要する、放縱自儘の家庭の女子が少し學問をして大々的氣焔を擧げた處でそれは平和な天地に言ひうるので一度魔の手が延びれば忽ち之れに屈服するのである。男女七歳にして席を同うせざるなどは消極的の議論のやうではあるがこの形式を採りて初めて貞操的精神が發達もし、保護されて行くのである。

この形式は唯物的議論であらうけれども、この唯物力がなくては精神の發達は期せられるものでない。

〔二〕

生物の本能に於て最も强烈な力を有するものは、何てあらうと問はば、如何なる學者も自ら保存力と生殖力であると答へるてあらう。形式に依らざる訓練なき男女に、自由の交際を認めた場合は必ずや貞操を亂だすのはこの强烈なる生殖力のためてある。

往時日本の女子が結髮に於て一本の亂れ毛を恐れたのも、一本の毛のために人格品性を疑はれるから自から不身持な事も禁ぜられるのてある。今の女學生を初じめ、一般婦人殊に智識ある婦人が自己の容貌を飾る以外に、結髮に何等の目的も手段も感じて居ないのに比すると、往時の形式的敎育の尊重される所以も決して無意味てはない。現代の女子は如何なる素行ありたりとて結髮は初めより亂れて居るから疑ふべき證左はない少し極論のやうだが、枕に代用される樣な結髮をして平氣て居る。これは惡用され易い自由と解放とを口實にして、證左を湮滅せしめて居るのは現代の女子てある。これほ

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

ど現代の女子は智識が增して居る事は明かだ。男女を密接せしむべき電車活動寫眞の如き危險物は澤山ある活動丈は避けるとしても電車は避け難い、お傳婆娘といふのは女子をして活潑に活動せしめ得る洋服等によりて一層便利に行はれるが、日本古來の衣服と幅廣き帶にては不活潑になると同じやうに、形により或は其活動振りが異つて表れるものである。

　被衣一枚に細帶を締めた場合と。和服の正裝した場合との氣分に誰れも異つて居る事を拒む事は出來ないだらう。男子にても寢卷一枚に兵兒帶を締めた場合とフロックコートの場合とは自から取得する感じが違ふものである。

　かくの如く形式は修養なき吾々の精神を司配することを覺ゆるならば、現代に於ける日本女子の精神敎養は全然間違つて居る。女子の貞操を强ゆる前には必ず

　この形式を重んぜなくてはならぬ。君子は瓜田に靴を入れず、李下に冠を正さゞるのも、これ皆形式手段とも解される。況んや凡夫凡婦が波靜なる環境に於て如何に氣焰を擧げたとて、强烈なる誘惑を受くれば必ずや破壞せられるに相違ないことを信ぜずには居られぬ。

〔三〕

　有夫の婦が丸髷を結ぶに代へて現代の知識婦人には束髮を以て有夫者か、未婚者かをさへ見分け難いやうになして居るは、女子道德が墮落しないとはいへぬ。未婚者か既婚者かを色別し得ざるほど何の必要ありて裝飾するのであるか。既婚者は既婚を標榜すればよい。從つて誘惑の魔が少い譯だ。

　忌憚なく言はゞ、これ等の女子は他の男子を誘はむとする有識、若しくは無識の表徵であると自分は斷言したい。自由よばりをする女子に、何うして貞操が守れやう、それは自由なのであるからだ。

　或る學者の說によれば、女子は男子に接して第一次に情感を高め、男子は觸感を一次とせりといへり。又女子の扮裝し容貌を裝ふは生殖慾の具體化なりといへば。之等の點より觀察する時は女子は男子の如くにあらずして觸感が第一次的なりとせば、男子の貞潔なるよりも貞操を守るに人間的に、一夫一婦の理想の上に於て必要に迫られて居るとが想はれる。

　女子が一度男子に觸れた時は、精神的卽ち情的に受動するのが先天性なのである。男子は女子に觸れたとき一つの觸感の滿足を得ば以て足るのもこれ又先天性なのである。故に女子は男子よりも貞操を守らざるべからず、貞操を守るといふのは一夫一婦を理想とするより起る必要條件で一夫一婦ならざるべからざるは人間的理想である。

　生物的に論議すれば必ずしも一夫一婦の必要もなからうが、人間其者が萬物の靈なりとせば、吾人はこの理想を無視する譯には行くまい。

〔四〕

　西洋の婦人は智識が優つて居るのか何うかは知らぬが、男子といふものは一度女子と接した場合は愛は全く醒めてしまふものだといふ考が、何れの女にも考へられて居るといふことを聞いて居る。其爲めにエンゲーヂメントに在る間は、如何なる場合も其男子に對しては、決して意の儘にならぬといふ。卽ち男子の地位と財產とに對する結婚なるがために、愛の醒めるといふことを恐れて居るのだと

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

いふ。この地位と財産は亦形式の一つであつて、貞操を守る上に強い力がある。故に當事者間に於てのみ一ヶ年の婚約期間は、醜狀更に認むるものなく純白なる男女の交際は行はれるのであると、この狀態を視察した人は、西洋の男女の交際の純白を日本に輸入稱道さして居る人々であるのである。然らば當事者間の各一方が他の男女に對しては如何といへば決して純白な交際はないといふ。それはない筈で其場合は双方とも生物的に生きんとするからて、若し吾々が人間といふよりも、生物であると考へたときは、男子と女子との貞操や貞潔もあつたものではない。

現代の男女の關係はこの生物的だけが強くなつて、人間だといふ考へが次第に減退して來るやうに、思はれる若い男女が公々然と手取り肩すつて平氣て大道狹しと喃々して步いて居るのは現代に見るに少も稀でない。由來生物的慾望を果す人間の狀態は決して社會美ではない、五慾何れを果す場合といへども決して道德美ではない。無いから東洋ては禮が必要になつて居る。禮は形式である道德美を全うせんには何事も形式の輕んずべきものではない。故に女子の貞操を強いんとせば諸種の形式を發達させねば其實は擧らない處が現代の女子は自由解放を叫て女子の貞操を亂さむと努めて居る憂ふべき事だ。全體人間慾を征服せんとするに積極 消極の二つがある。西洋は積極主義東洋のは消極主義である。基督敎も佛敎も皆東洋の敎義である。自由解放を呼ぶのは西洋思想の輸入であつて積極主義である。この主義が漫れば漫る程危險思想と化して來る單に女子の貞操のみではない、人間は慾の爲には盲目である以上、消極主義に立つのが眞當の進化向上した國民なので、これが兩主義を調和する所以である。

最近の運動

本部では、去る五月八日の日曜日を卜し、神田美土代町靑年會館に於て風紀廓淸大演說會を開催した。此の日聽集の會するもの無慮千八百、定刻前既に會場前は聽集山を築き互に犇めき合ふて、一度開扉するや雪崩を打つて流石の大講堂も一瞬時の間に立錐の餘地なきまでに埋められ近來稀に見るの盛會であつた。定刻六時半に至るや伊藤理事の司會のもとに理學博士山內繁雄氏は廓淸の本髓題下に眞摯なる態度にて諄々と說かれ本會理事高島米峰氏は氏一流の快辯を振つて新マルサス主義の排斥論を高調し、會長島田三郎氏は、政治と風俗との關係に就いて說くところあり現代の政治の不敗紊亂の極を盡せるを咏嘆して聽衆に多大の感動を與へられ、十時半散會した。

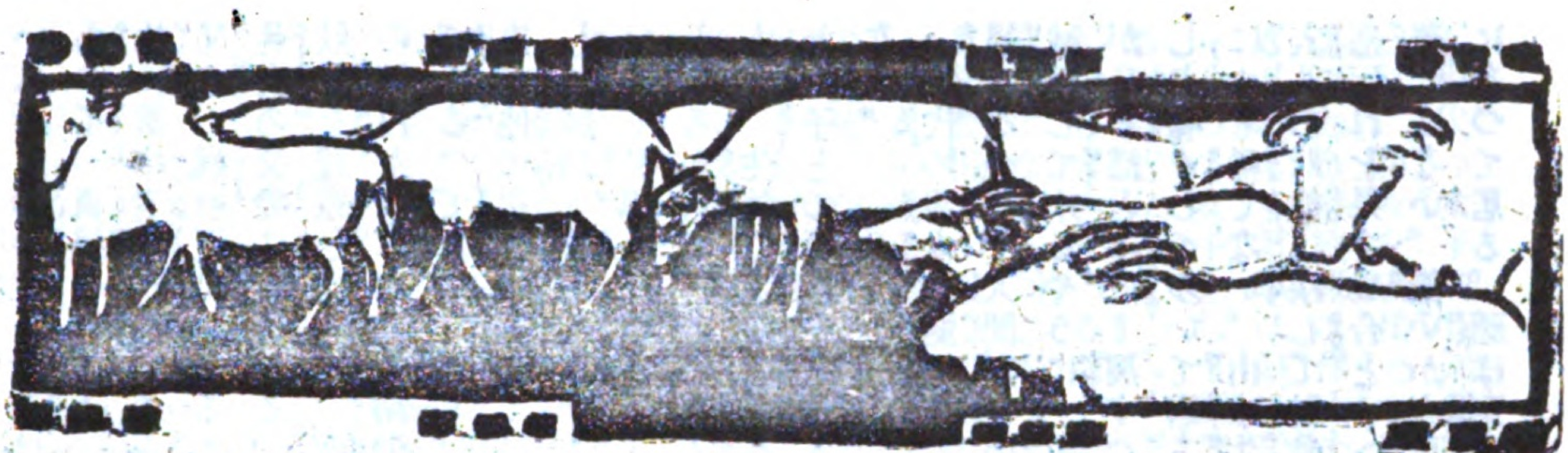
□ジャンダーク

五月十六、七兩日本部では神田靑年會館に於て活動寫眞大會を催し、社會の益々惡風潮に染みつゝあるに對して、オルレアンの少女ジャンダークの映畫を提供して、一面反省を促し他面警告を與へたのであつたが、兩日とも頗る盛會であつた。

○敎派に超越

我が廓淸會は動もすれば一敎派に屬はれたる如く觀らるゝので、總ての敎派に偏せず黨せず全く超越して一つに社會の爲めに戰ひつゝあることを示す爲めに、去る六月廿七日神田明治會館に於て大演說會を催した。講演者は、文學博士村上專精（廓淸の鄙見）加藤咄堂（國民思想の推移）、文學博士井上哲次郎（現代の廓淸問題に就て）理事高島米峰（未亡人の貞操）諸氏であつたが、夕刻よりの豪雨にも係らず入場謝絶を餘儀なくして門の鐵扉を閉ぢた程の盛會であつた。

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY



謎の世界吉原日記（四）

元吉原病院看護婦　田口和子

六月二十七日（金曜日）

先生の御出勤が遅いので、同僚のF様と治療の始まるまで、三號事務所の二階の檢査場へ行つて、皆様と一緒にテーブルを圍繞つて、お茶を啜りつゝ下の公園を眺めながら、檢査場の小使さんや、雜仕婦さん達が始めて田舍から出た時分には吉原見物に來て、此所は何時もお節句の樣に、綺麗なお人形さんが澤山に並んで居ると思つたとか、または或る時は地べたに手を着いて破落漢に三拜九拜したといふ樣な滑稽もあつたとかといふ樣な色々な話を聞かされて、皆なが笑ひ興じたのであつた。

私は此處に來る度びに機會があつたなら一つ聞いて見たいと思つて居つたことがあつたので、今日は恰度よい機會ではあるし『以前から聞かうと思つて居ましたが、彼の貴賓室に掛けてある大きな寫眞の方々は何方ですか敎えて頂戴と、』その中の一人を連れて一々說明を求めると、一番大きな辨天樣の繪を額にした左側に掛つてゐるのは軍服姿の厳めしい方であるが、それは川地警視總監とか云ふ人で、此の事務所の創立した時お出てになつたお方で、右側にあるのは四久保警視總監と云はれる何れもお偉い方々だそうである。而してそれと相對した向ふ側や兩側に掛けてある十枚の寫眞は何れも此處の功勞者であるといふことであるが、その小川樓主や辨中樓主の寫眞を一緒に、今では貸座敷を廢業して眞面目な實業家となつて居るK氏の寫眞が矢張り吊られてあるのは、聊か氣の毒な樣でもあるが此室に掛けてある總てに比較してその肖像は生きて居る樣に見えた。

それから二階の二號室の近所へ、二人の巡査が控えて居るのは何ういふ譯かと聞いて見れば、それは個人の家庭で謂ふなら番犬と同じで、檢査が始まると一人は其處でその儘監視し、一人は階下に監視するのであるといふことであるが、眞個とにそれが何の役に立たうに、只だの形式にしか過ぎはしないんですもの、全く噬はずには居られはしない。原大臣は官邸警護の澤山の巡査を廢して警視廳を喜ばしたといふことであるが、何時も警視廳あたりでは手が足りないと滾ぼしておる一方に、吉原には交番も二つある、その上に憲兵の出張所もある、事務所の出口には遊廓よりの請願巡査控所がある。そして廓の入口には堂々たる日本堤署の宏莊な建築が聳えて居る。それ等が何んの爲めに設けられて居るのだらうか、それは僅かに樓主達の手助けをして囚はれた小羊を逃さがぬ樣に備えられた用心棒ではないだらうか？

それよりは未だ〳〵警視廳のお手を煩はす處は澤山にある答だ、弱い小羊を虐げるよりも、最少し泥棒の用心を完全にして貰いたいゐのだなんて、大反れた考えも浮ばゐてもなかつた。

六月二十八日（土曜日）

何時でも晋門から南千住行きの電車に乘ると私は言ひ知れぬ不快を感じるのであるが、今日も用達しに出掛けたので夕方その電車に乘ると、相變らず乘客は男九分に女一分の割合だ、尤も遊冶郎の出盛る時間だから夫も無理はない。相當分別盛りの男が子供を捕えて淋病がどうの、女郎との交際は斯うするとか彼あするとか宛ら敎師が生徒に物を敎える樣な具合に、諄々つまらぬことを言つてる者があるかと思えば、一方では青年同志で、どんな手術をしたとか言つて自分達お互の病氣のことを一向平氣で自慢そうに話して居るのもある。中には鼻歌を並べて泰平樂をきめ込んで居る者もあり、浪花節を怒鳴るもあれば、役者の眞似するもあり、車中はこれ等の聲で騒々しく、熟柿の腐つた樣な臭氣は、同車の眞面目な乘客な迷惑をかけること決して尠くはない。

電車が山谷の停留場に着くと、滿員の電車がガラ明きになつて仕舞つた。そして、片隅みの方で紳士然と澄まして居た一人が『旦那！お早う（お早いお着きの意味）』の聲と共に伴の人となつて吉原の暗い空氣に吸ひ込まれてゆく姿も滑稽に見えた。この時に、若し神樣がフルイにかけられたら、この澤山の人の中に何人の人間らしいのが居るだらうといふ樣な事も考えた。

歸院時刻には少こし早いので、遊冶郎達の行列に交つて、左右の路を歩いて見た、何處にも此處にも『近道』『拔けられます』といふやうな小いさな露次がある、晝間來た時には締つて居つて、夜來ると其處からゾロ〳〵と出たり這入つたりするのは實際不思議だが、こんな拔け道も吉原式とか廓式とでも謂ふのだらう。

何の家でも鉸附やいろんな姿の女の寫眞

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

が飾り付けてある。そしてその脇には『揚代金七拾錢てあるとか、『揚代二圓』『三圓』だとかといふ札が一緒に陳べてある。その札と寫眞を見てゆく男どもの胸の底は淋しいものであるが、この札で相場付けられて居る姉妹達の果敢さを想ふと泣かずには居られない。何が國辱だといつたつて、この位の恥曬らしがまたとあるだらうか？それを社會も看過し、政府も認めて居るとはなんといふ慘酷なことだらう。

六月三十日(月曜日)

六十名の受持患者の中で、臺へ上る時に異樣な形をするので何時も人を笑はせるのは、國井さんと岡安さんである。先生も、此の人達を呼ぶ時には名前を言はないで『痛てえよ……死ぬよ……だッ』と、お呼びになる。それが殆んど此の人達の代名詞の樣になつて居る。この人達はまた治療の時などは殊にそうお仰るのであるが、それは眞實の叫びで、決して人の笑ふやうなものではあるまい。それもその筈である、彼の人達のは極く惡性のもので、その患部を燒灼治療をするんですもの、とても我慢など出來るものではないてせう、しかもそれが一ヶ所や二ヶ所ではないのですものそれに先生だつて惡しかれと治療なさるのではなく、一日も早く癒して遣らうとして居られるのだけれど彼此れ一年近くも斯うした病院生活をして居るのだから、死ぬ樣な思ひのするのも無理てはない。

常に聞くことてはあるが、今日も院長さんの雷のやうな大きな聲が響いた。何んでも軟科二號臺(梅科と最も近き臺故 て、一人の患者が先生の燒灼施術を嫌がり、惰々をこれて泣き出したので、梅科て見直し(退院する時は一應必ず院長が御覽になることにきまつて居る)なさつてた院長さんは『どこの奴だい。！ 开睽な我儘を言つて醫者の言ふことを聞かぬ奴は、かまはないから中野君放つとき給へ、そして名前を付けといて何時迄も入院さしとくがいゝ』と大喝一聲患者を恐縮せしめたのである。

また一方ては院長さんは見直しなさつてゐる患者に、『まだ癒つてるんてはないが、退院さしてやるんだから、出たら養生せにや駄目だよ』とお仰るとその患者は『すみません』と言つたので、さあ大變、折角臺を下りて謝つてるのを呼び戻して『何んだい！すみませんとは、お前達はたゞ濟みませんと言へばそれて濟むと思つてるんか！何處ても此處ても濟みませんをくつつけたがる奴等だ、宜いかい、出ても屹度養生せにや又直き入院するぞッ！と』念をお押しになつた。

けれども、それが何の位の効き目があるかどうだか患者達は果してものゝ二三間も歩かぬうちに、ペロリ赤い舌を出して鼻の上に小皺を寄せて仲間同志の間に笑を洩して居た。院長さんはそれを御存じなかつたから無事だつたが、若し御覽になつたなら……想像すると怖いこの夏の眞晝にも身慄いがする。

然し先生(院長さん)のこの嚴格なのも、正直て眞實の親切があるからてはあるが、姉妹達にはその御親切も分らぬらしい。夫れもその筈院長さんの御親切にも大分間違つた見當違のものもある。現在に未だ斯んなのをとお思ひになりながら全快(治癒)として、お出しになるのだから。病氣のある者に健康者としての證明書をお出しになるのだから、何の爲めの驅黴院だか檢査だか譯の分らないものだ。入院する時も、退院さす時だつて、一寸も患部の黴菌檢査を行はないのだから全く呆れたものだ、これても帝都の驅黴院て候といふのであるから心細い。

尤もそれを一々嚴しく檢査をしたなら、入院させる者ばかりて、退院させる者は一人もない。それては第一場所に困まるといふ譯なのかも知れないが、比較して見ると、未だ地方の驅黴院の方がましな點もある。

七月一日(火曜日)

今日は萬國平和條約成立の休日て檢査場の外私達は皆休みてある。午前は三業事務所の二階へ參觀旁手傳ひにゆく。十時四十五分から檢査にかゝつて、十一時五十分には二百八十幾名といふ澤山の人の檢査を濟まして、その上に跡始末の掃除までも濟んてしまつた。然しこれは今日ばかりてはなく、何時だつて此の位の速さなんだから、別段珍らしいことてはないが、粗漏なといふことは門外漢の誰れだつても想像出來ることてあらうと思ふ。早い話が先生方が患者に向つて、お前も養生しなくつ不ば駄目だよ、お前も養生しなけりや今度の檢査には取るぞ。おいお前も惡いぞなんてお仰る處を見れば、それが一々何の人が何の位の程度に惡いといふことは説明出來ないまでも、それ等の人をドシ〳〵登らせるのだから、亂暴といへば隨分亂暴なものだ。尤もこれは去年院内て赤痢が流行し大閉口をした爲めに、夏分丈けはこうだと云ふ話もあるが何れにしても無茶なことてある。

斯んなにしても一日平均十名位の入院者があるといふのを聞いても、此の社會に何の位黴菌が食ひ込んて居るかゞ分るてあらう。斯うした檢査の仕方だから先生の手の先を覗て居ると、全く機械の動くやう。その速ひ事と言つたらありやしない。そして合ひ間には隨分慘酷なこともお仰る。田舍から出て間のない人は恥し相に、せめての思ひに顏を袖に包んて居ると、『馬鹿たれめ、顏かくして尻かくさずたお前のことだ、全るて氣の樣な奴だそれて客が取れるかい』なんて、そしてお尻をヒシャリッ……と。

嗚呼、何んといふ慘酷なことてせう。それが二度三度十度と經つと、始め足を震て上つた人が生れ變つたやうに、一向平氣で吸ひかけの卷煙草を手に持つたまゝ臺に上るやうになるのだから、恐ろしい。世の多くの同性の人達ちはこれ等の人々を蔑んて居るけれど、娼妓の境遇に陷れられた人達だつて矢張り人の子てある。初めは矢張り同じ小羊のやうな小娘てあつた。けれども虐げられ、苛まれた上句の果が自暴自棄となり人々の嫌うやうな氣質のものに變つて仕舞うのてあつて、本人達の生れ付きてはなく、社會が作り上げて仕舞ふのてある。そのさまを目前に私は見せ付けられて居るのだから、泣いても泣きれはしない。所謂貴婦人とかいふ人達ほど、斯うして沈んて居る人達に同情を持たないが、一度丈けても見せて上げ度いものてある若しさういふ人逵が一度見たなら鬼てない限り姉妹達を再び蔑む樣なことは出來なくなるてあらう。

新設の二支部

○福岡縣八幡支部

龜田長太郎

拜啓　御書面正に拜見仕候。實は早速御返信可申管の處延引致し誠に申譯無之次第に御座候。當市の有力者等を高き道德觀の上に根底を置かしめ廓清運動を試み度く存じ種々御手數を相掛け居候處此の度發起人間の同意全く成り、別紙の如き印刷物を配附致すまでに運び候間、將來とも何分の御指導を仰ぎ度願上候。

追而支部事務所は福岡縣八幡市大阪町五丁目（電話四二六番）に設置致候。

清廓會八幡支部設立趣意書

人類社會の進步は科學的に物質上の慾望を盈たさんと爲す者洋の東西を問はず人種の黑白を異にせず…自己の欲する慾望を滿足せしめんとするにありては其手段を選ばざりし者全世界に渉りて行路狹しと狂奮し日々新紙三面記事の材料となるもの丶大多數は下級官吏と勞働者なりしに…最近に至りては…實に第三第四の階級より…寧ろ高官連に及すこと流行性感冒の如く…受に於て吾人は徒に物質的文明にのみ滿足せず…最も精神的向上と進步、自由を開發せんと欲するは…立憲君主國體の良民ならざるべからざるの義務を保有し…而して吾人は治者被治者を異にせず自己一人の覺醒を促すと共に社會の同志をして自由の天地に誘導し…伸いては集り來る識者諸君の御指導に依り猶ほ一層の自覺と…自重と堅忍と覺信とを得…充實したる民力を養はんことを希望し、云はんが爲に叫ぶにあらず…成さんが爲に叫び…反對せんが爲に反對するものに非ず…高き理想と一貫したる主義の爲に…世の不義罪惡の敵となつて力戰奮鬪を敢てせんと欲するは…正義を擁護する人道ならずして何ぞや、かるが故に…社會、敎育、宗敎、政治、倫理、道德、凡て人類の幸福の爲に努力せんは…國家に及す積極的幸福を希ふ…廓清の喊聲を九州の天地に轟かせ…八幡市に支部を創設し其組織ある機關たらしめ以て廓清の實を擧げんことを諸君と共に祈るものなり。

○福井支部の設立

謹啓　貴會益々御奮鬪國家の爲めに奉賀候、今回本縣下に於ても縣民の墮落、風紀の敗亡、浮華輕薄の現狀を見て、吾人主義に生き、精神主張を同ふする憂國の志士を叫合し、福井縣廓清會を建設し、貴會と同一主張主義の下に運動を開始致候、

當會幹部は數年來御會御發行の雜誌（廓清）の讀者にして、常に社會問題の研究者に有之、社會の爲めに常に活動しつゝあるものに御座候。

福井縣廓清會は本部の御承諾に相成る以上は、廓清會福井縣支部として連絡をとりたく、會員一同の希望に御座候。當會の會則第二條にも之れを明記せる次第に有之是非共貴會支部として御承認を得度く候。如上の次第にて、支部として御承認の時は、今秋十月頃支部發會式を舉行いたすべく、其の時は本部より會長殿をはじめ、役員各位の御來福を辱ふし、盛大なる發會式及び講演會を開催して、民衆運動いたすべく、本縣出身林歌子先生にも昨年支部設置を御話申置き、敎會員も其の決心に御座候間、是非とも本部の御後援を願上候。

福井縣廓清會々則

第一條　本會は正義人道を踐し宗敎、敎育、道德、慈善、衞生、婦人問題、生活問題、其の他社會各般の活問題を眞摯に研究し、社會改良を爲すこと。及び男女間の貞潔の德操を獎め、家庭を純潔にし、社會風紀を廓清し、人生の幸福を增進する爲め文化運動を爲すを以て本領とす。

第二條　本會は東京廓清會本部と連絡し、同一の運動を爲す。

第三條　本會は男女、年令、職業を問はず何人たりとも入會することを得。

第四條　本會は會費金貳拾錢を（但し一ヶ月）會員より徵す。

第五條　本會は左の機關を置く。

理事長　一名　　專務理事　一　名
理　事　九名　　評議員　若干名
顧　問　若干名　　支部長及幹事（若干名）

第六條　本會事務所を福井市佐佳枝上町八番地（當分）に設置く。

第七條　本會は每年一回の總會を開き、每月演說會を開く外、何時にても講師を派出す。並に每月一回雜誌『廓淸』を配付す。

以　上

理事長　井戸時也　專務理事　山口魁堂

今や凡ゆる民衆運動は隨所に愈々熾んにその擧が上げられつゝあります。我が廓清會の運動も漸く世人の認むるところとなり、着々その實績を收めつゝありますが、各地方に於ても我等の戰鬪を益々慾求し、上掲の如く八幡市と福井市の熱心なる同志より何れも支部の新設を求めて來られましたので本部では、何れも支部として認むる旨を通達し、玆に新たに新鋭なる我等の味方たる二支部は產まれることゝなりました。

この報告を草するに當つて、兩支部設立の爲めに盡瘁せられた、各委員諸氏に敬意を表しておきます。

——（本　部）——

編輯之後

■梅雨明けの空は宛ら炎くやうだ。三十日間の濕潤をやつと我慢した我等の前には、その交替に三十日の土用といふ奴が何の用捨もなく迫まつて來る。开處て貧乏人の慘めさが熱々感じられる。毎日々々牢獄のやうな一室に幽閉されて、鑄型に嵌められた様に机に向つて事務を執つて居る勞働者、地獄のやうな工場に油汗を流してハンマーを持つ勞働者、炎天に、晒されて黑焦に泥塗れになつて稼いで居る家外の勞働者、彼等の毎日爲しつゝある仕事の上に彼等は何れ丈けの希望と生氣を持つて居るだらうか。恐らく彼等は开處に大なる生命は持つて居らぬだらう。彼等が働いて居る唯一の目的は、唯だ一日一日と僅かに次の一日の生命を支持する手段を講じて居る以外には何んの樂しみも慰めも無いてあらう。彼等は宇宙に人間としての生存をして居るのではなくて、恰かも一日の彼等の仕事が時間に依つて强制せられて居るやうに、彼等は果敢ない命の支持が時間の連續として、たゞ無我夢中で繼續して居るのであつて、彼等の働きは蟻が餌を運ぶのと異りはない。

■蟻は我等勞働者と同じ様にパンを求める爲めに毎日毎日孜々として働いて居るが、働いた全部は自分等の所得になるのだから結構だ。そして蟻には生活の餘裕もあつて食物の貯藏も出來るが、我等勞働者は粉骨して働いて見た處で決して生活の餘剩はない。一度び病氣にても罹れば勿論餓え死と相場は定まつて居るが、壯健に稼いだ處てその日の生活も完全には爲し得ないのだから不平虫も穩かでは居られない。遠慮會釋もなく込み上げ來るのである。

■我等は一生懸命に働いても食へないのに、その油汗の結晶は種々なる寄生虫の爲めに、嚙られたり、吸ひ取られたり、喰ばれて仕舞ふのだから大抵我慢も出來なくならうてはないか。其の上に开麼な虫に限つて御大層な、俺は天下の金持ちだなんてな顔をして、避暑だ避寒だと騷ぎ廻り、汽車に乘れば我が物顔て威張り散らし、お蔭て樂をさして貰える勞働者を反對に蔑んで居るのだから、狂氣染みて居て手も付けられない俺は天下の〇〇だ金は幾らでも遣るから命を助けて呉れと謂ふ様な瘋癲もあれば、阿片に醉つて何が何やら自分の言ふ事が自身にも分らぬ様なことを滔々と饒舌つて、自ら仕た事も忘れて居るやうな白痴もあるのだから呆れて仕舞ふ。

■獨逸あたりでは學者が食えないで困まつて居るといふが、それは決して隣の噂丈けではない。向河岸の火事だと思つて居ると大きな間違ひて、我等の住んで居る足許だつてもその通り。歐洲まで出掛けなくても我等は居ながらにして毎日それを見ることが出來る。大學教授だ何博士だと聞いた丈けては大抵な田舍者は吃驚りするやうな先生逹が、矢張り生活難の洗禮は受けてゐるのだからお氣の毒な話だ。

■今年は隨所に色んな講習會が盛んに開かれて、大抵の學者は内職大中りの豐年だ。願くば年一年と倍々旺んならんことが望ましい。大學といふ名稱は現代の流行語だ。學校は昇格運動に大騷ぎをやつてその榮譽を荷負ひ、且つ之れに依つて一人でも多くの學生を吸引し樣と焦燥つて居る世の中だ。鄙に巣喰える杓子も、都會の塵箱に齷齪せる猫も、大學といふ文字に、餓えたる魚が餌に寄るが如く、蜂が蜜を追ふ如く、等しく釣られて東に西に、奥山に集つて行くのだから面白い何が商賣になるか分らぬものだ。

■尤も學者だつても人間だ、而かも我等と同じ勞働者だ、彼等は我等よりは多くの本を讀んで居て、飜譯を爲る能力の所有者と云ふ丈けのことて、假令、形式に異りはあつても、矢張り我等と同じ様に從屬的位置にあつて、賃銀勞働をして居るのだから、之れを勞働者だと呼んでも不平はあるまい。と同時に、僕は此れを稱して飜譯勞働者と謂ふ。だから、彼等も我等と同じ様に、食えない階級であり、寢床を奪はれた階級であり、内職を餘儀なくせめらるゝ階級なのだ。

■幾ら學者だつて、同じノートを引つ繰り返へしてこの土用三郎に汗を流す必要が怎處にあらうに。开うてなくても年百年中大抵操り飽きて居るてはないか。物好きや道樂丈けては到底も我慢の可能る業てはない、必要が开處に伴侶となつて居ないなら、出來る藝當てはない。然かもこの煩鎖と辛苦を忍ばればならぬのだから、大學者となるも亦辛い哉だ。僕は何々講習會とか、何々林間大學だとかいふ様な毎日の新聞記事を見る毎に、學者たる人々の勞苦と悲哀を感ぜずには居られない。

■斯して我等勞働者は等しく孜々として働いて居ても蟻程の生活も出來ないのだから、不平虫は腹の底の方て不斷に唸鳴つて居るのも決して無理てはあるまい。假令、それが無理てあるとしても、我等は相憎く砂利を嚙る程の鋭い齒も持ち合はせて居なければ、船を消化する様な强い胃袋や、瓦斯や阿片にも中毒しない様な健かな軀を持ち合せて居ないのだから、下劑を呑まぬ限り不平虫は依然として我等の腹に寄生し、惱まれ擡頭して來るのであつて、开麼頑健な體の持ち主を見ると、愈々唸鳴らずには居られなくなるのてある。

■茶にはチイン、煙草にニコチン、酒にアルコールと夫れ々々毒素があつて、何れの中毒も害あつて益ないものであると中學時代に生理の教師から教へられたことがあつた。そして流行性感冐の恐るべきものであることは社會が教へて呉れた。黴毒の恐るべきものてある事も我等は知つて居る、最早や誰だつて化け物を怖がる者もあるまいが、地震雷火事親爺以外に怖るべき物の數多は我等の周圍を鄭重にも取繰して居り、就中我等の尤も恐るべきものは、不平虫てあるべき害だが、不平虫は成金風や頑固な奴が大嫌て、夫れ等に觸れる時は、最も擡頭したがる癖がある。(清美)

大正十年七月十日印刷（毎月一日十日發行）
大正十年七月十日發行（一部定價金二十錢）

編輯兼發行人　神田區今川小路一丁目三番地　伊藤秀吉
印刷人　本郷區眞砂町三十六番地　佐藤駒次郎
印刷所　本郷區眞砂町三十六番地　日東印刷株式會社
發行所　神田區表猿樂町七番地　廓清會發行所
電話神田四〇二〇番　振替東京二七〇七二番

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

◉御注文の際は必ず雑誌「廓清」による旨を申添を乞ふ◉

酒きらいになる藥

禁酒丸

一週分　一圓五十錢
二週分　二圓八十錢
三週分　四圓

どんな酒煙草のみでも害なく心からきらいになる。郵券二錢送れば説明書及大澤博士其他名士の

禁酒禁煙論進呈

禁煙散

煙草きらいになる藥

金壹圓　金貳圓　金參圓

本舗　大阪松南通二丁目　森田商店

電話土佐堀二六〇二番
振替大阪二二一壹二六番

産婦人科・小兒科

女醫　冨山改め　吉岡彌生

△院長診療　宅診午前　往診午後
△醫員診察　午後

産室及病室の設けあり臨時入院の需めに應ず

東京市麹町區飯田町四丁目三十一番地

東京至誠病院

電話番町二二五七番

市街建築法ニ依ル手續代願應依頼

─(官廳出願代理建築設計監督)─

都市建築協會
東洋測量社

主任　石川喜代松

東京早稲田鶴巻町二二七
電話番町三〇一一番(呼出)

◎廣告主へ御用の際は必ず雜誌「清廊」による旨御申添を乞ふ●

THE NANKOIN HOSPITAL

Chigasaki, Kozagori, Sagami. (Near Oiso)

UNDER THE MANAGEMENT OF

Dr. K. TAKATA

Within a few minutes from the Chigasaki Raiway Station

Healthiest Situation

FACING THE SAGAMI BAY

FINE SCENERY

Telephone: Chigasaki No. 2.

副長（兼任）醫學士 岡本鑑雄

診察毎朝（但祭日及日曜の他）

院長 診察、月、木、金午前及木午後六時

林、峯間兩副長は目下當院に在勤

東京三番町三十番地（市ケ谷見附上）

電話九段（六六二番 六六三番）

東洋內科醫院

院長 醫學博士 高田畊安

電話ちがさき二番

南湖院

相模國茅ケ崎海濱（從停車場半里）

河野、高橋兩副長は目下當院に在勤

院長診察土曜日午後 入院診後應需

診察毎日午後 但祭日及日曜の他

◎募集——看護婦志願者及雜事婦

（大正七年十一月一日第三種郵便物認可 大正十年七月十日印刷納本）（毎月一回十日發行）

大賣捌所
東京堂、東海堂、上田屋
警醒社、北隆館、文明堂

定價一冊金二十錢

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY